館報
はさみ

第4号
波佐見町公民館
電話（波佐見金鑛局）69番

大村市玖島町
印刷所　隆文社印刷所
電話838番

年頭のあいさつ

波佐見町長　福重武次郎

町民の皆様!!　明けましてお目出度う存じます。輝やかしい昭和三十二年の新春を迎えるに当り、先づ以て国家の隆昌と悠久の安泰を祈念致したいと存じます。

回顧致しますれば昭和三十一年は、我が国にとつても、亦当波佐見町としても、まことに多事多難であり、且つ意義深い年であつたと思うのであります。

即ち国家としては日ソ間の国交を回復して北方えの門戸を開放致しましたのみならず国際連盟えの復帰が認められ　大手を振つて世界各国えの仲間入りが出來ましたことは国民としてこの上もない喜びと誇りを感ぜらるゝからであります。

又わが波佐見町としては、約二ヶ年にわたつて悩み続けて参りました、上下波佐見の合併を実現し、七十年の歴史を閉ぢて大波佐見町の発足を見るに至りましたことは、時の流れとは申しながら画期的な大改革でありますと共に、町民の福祉増進のために、まことに慶祝すべき歴史的な一頁であつたと、信ずるからであります。

私は年頭に当つて本町発展のために所懐の一端を申述べたいと思うのであります。

御承知のように波佐見町は昨年六月一日新発足は致したもの丶一應形式的な合併が行われただけで、未だ充分な骨組みや肉付けは出来て居りません。その骨組みや肉付けは、今後新町建設計画に基いて、五ヶ年の間に充実完成させることになつて居りますが、本年はその実行えの第一年目になるのであります。

私共が新町建設え如何に立派な理想を抱き計画を立てゝいましても、その実現を見なければ結局は絵に書いた餅と等しいものであります。

そこで私は町の為政者として、新町が益々発展し、一万六千町民の幸福がもたらせらるゝよう、建設計画の実現を図るべく、微力ながら日夜心魂を傾けて居る積りで御座います

然しながら、本町が名実共に健全な波佐見町として、繁栄致しますためには、何と申しても町民皆様の固い協力態勢と、融和精神の涵養が最大の要件であると信ずるのであります。

町民の皆様!!どうか心を合せて共々に協力し、あくまでも和やかな気持をもつて、持場〳〵に御精進戴き度いさすれば本町の将来は輝やかしい発展を遂げることを信じて疑いません。

年頭に当り一言申上げて新年の御挨拶と致します。

新らしい國の力

榮光を浴びて

集う若人三二〇名

第九回　成人式

▲一月十五日町公民館に於て第九回の成人式が行われた。

▲本年は町村合併後初の催しで、成人男子一五八名女子一六二名の多数に上つた。

▲午前十時、町内名方面の来賓及び父兄の方等、広い講堂も狭いまでに埋められて、幸多い若人達の門出を祝福する空気に溢れていた

▲先づ君が代の齊唱に心を整え、男子代表宿郷松尾早苗、女子代表中尾郷熊野春美に成年証書が授与され、次いで男子代表田頭郷牧村弘人、女子代表中山郷岩松敬子兩君に記念樹桜の木が授与された。

▲町長の式辞に大きな覚悟と意識を强めた、成人等は更に上田議長久松教育長、一瀬婦人会代表、中尾青年団長の祝辞と、知名者多数から寄せられた祝電に一層の感銘を深め、成人代表岳辺田郷山内岑生君は若人の感激に燃えて答辞を述べた。

▲次で左の祝歌が田川助役によつて朗詠され最後に一瀬県議の発声により万才が三唱されて式を終つた。

祝　歌

○限りなき
父母の慈愛に
幾星霜
榮光の門出
今日君にあり

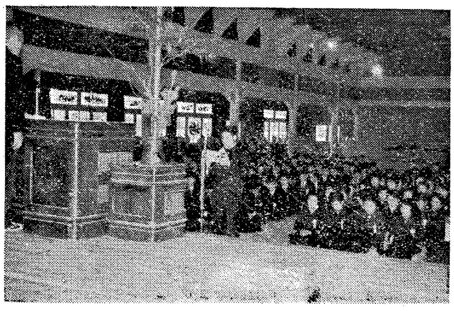
○若竹の
生いよ茂れと
父母の
祈りし甲斐の
今日ありてこそ

（何れも前東小学校長山口正之先生作）

▲次いで小學校庭で一同記念撮影の後、午後一時から青年団の担當によつて、婦人会と青年団の祝賀芸能会が行われ、婦人会の接待で町贈呈の晝食を戴きながら楽しい意義深い今日の一日を終つたのであつた。

×××××

成人の日
祝い祝いて
世の人の
汝等えの期待
大きこと知れ
（湯無田　富永久子）



第9回成人式――山内總代の答辭

新町建設について

縣知事に要望

一月十二日県庁における新町建設促進協議会の席上、久松助役は左記の通り要望書を知事に提出、関係各課長と細部について打合せを行つた。

新市町村建設促進について国、縣公共企業体に對する要望書。

一、道路新設改良事業中、鬼木、金屋林道工事を昭和三十二年度当初において認可されるよう要望する。

二、鬼木開田川を砂防地区として指定されるよう要望する。

三、川内川を準用河川として、早急に認定されるよう要望する。

四、川棚川は現在準用河川なるも建設省直轄河川に認定され、河川改修と災害復旧工事の早期実施を要望する。

五、電話通話区域の統合方を要望する。

六、国鉄バス嬉野―舞相までを佐世保駅まで延長、舞相―有田まで延長方要望する

七、県道川棚有田線の中、陣川橋より宿まで延長二〇〇米について速かに拡張整備をされるよう要望する。

八、佐世保嬉野線鮎帰及宿橋梁二ヶ所の架替の早急なる實施を要望する。

九、長野地内崩潰地復旧工事の早急実施を要望する。

十、戸立山国有林地内の砂防工事の早急実施を要望する

十一、戸立山国有林を町有に払下方を要望する。

十二、川棚町より佐賀県有田町に通ずる町道（川棚伊万里線）を県道として認定改修方を要望する。

十三、長崎県窯業指導所の充実と徒弟養成機關の併設方を要望する。

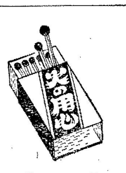
十四、農業改良普及員の町村駐在実現を要望する。

十五、授産場施設について優先認定方を要望する。

十六、新農村建設計画中、地域性にず應る事業の単位、基準等の再検討を要望する

十七、簡易水道新設事業（継続事業）第二年次の認可を早急に要望する。

寝る前に　火もと見廻り　バケツに水を



去る一月二十三日村木郷原尾熊三氏宅小屋から出火、本家小屋を全焼し、隣りの原尾盛次氏の小屋を半焼しました。罹災者の方には誠にお気の毒な次第です。

この外新春早々県下には二回も大火が発生しましたので目下火災絶滅運動が県下一円に実施されていますが何をおいても

「先づ火を出さぬこと」

もし万一出火した場合は逸早くこれに

「水を注ぐこと」

「消防團に知らせること」

が最も大切であり私達の常識でもあります。

然しながらこうしたことは重要な而も簡易なことが殆んど実施されていない現状でありますので今後は、これ等のことを私達の日常生活の習慣とし、無火災の理想に近かずきたいと思います。

「寝る前に火もと見廻りバケツに水を」

これを私達の標語として今後恒久的実践に移りましよう。

波佐見町消防團長

吏員異動

今般左の通り退職されました。

東農委事務局　**岩淵重秋**
総務課戸籍係　**栗山綾子**

岩淵さんは転職、栗山さんは結婚のためであります。御兩氏の将来の御多幸を祈つて右御報告致します。

こんなに虫が居りますぞ!!

今毎日大村の保健所から出張されて東地区の糞便検査が行われて居ります。

現在（二日目）まで調べられた分（中尾郷の一部）で左の通り保卵者がいることが分りました。

○検査人員	二四五名	
○この中虫の居るもの	一四六名	五九、五%

○保卵者の内訳

一、蛔虫の居るもの	九六名	三九、〇%
二、十二指腸虫〃	四四名	一七、九%
三、鞭虫〃	五六名	二二、四%

このように十人のうち六人は腹の中に虫を養つて居るのです。中でも体力を一番弱らせるのは十二指腸虫で、この率で行くと、中尾郷だけで二〇〇名以上の十二指腸保卵者が予想されますが、この虫が中尾郷の労働力に及ぼす影響は大きいものがあると想定されるのです。保卵者の皆さんは、早く薬を飲んで虫を出して下さい。

大村保健所
役場更正課

家畜取引法について

昭和三十一年五月二十四日成立、仝年六月一日公布、九月一日実施の家畜取引法は、從來の家畜の賣買方法を根本より改正し、公正なる取引による流通の円滑を図る目的で制定されたものであります

要するに、農家の皆様が取引に対する認識を新にして、市場と直結することによつて、有利な販売をし畜産物より生れる利益を促進するためであり、又反面庭先取引による色々の障害を根絶しようとするものであります。

例へば市場による取引を、成牛仔牛を問はず全部「セリ賣又は入札」による方法でなければならない。（法第十五条）家畜市場に於いて家畜の買入れを行おうとする者は、家畜市場における家畜のセリ賣又は入札につき、公正な価格の成立することを阻害する目的で又は不正の利益を得る目的で、談合してはならない（法第十七条）

このように購買者に対する厳格な取締りを行うことが規定されて居ります。

又家畜商が、農家の皆様と取引する際は、必らずその牛の年令、特徴性別、種類、価格悪癖、疾病の有無を記載した書類を農家に交付しなくてはならない（法第二十八条）ことになり、若し家畜商が之を実行しない時は、免許証の取消と共に罰金が課せられる様になつて居りますので、自分が取る牛はどんな牛であるか必らずこの書類を取つて、後から起る問題に対処する様御注意下さい。（以下畧）

東彼畜産農協
技師　山本一抜

◆思うだけでは役には立たぬ、やります今日から私から（婦人週間入選標語）

◇自覺して、破れ昔の、古い殼！

△燃え上つて來た 農事研究熱

前号の舘報で川内の吾作会が産業振興の功労団体として表彰を受けた機会に、農事研究グループの一層の奮起をお願いして置きましたが、其の後野々川の公民舘産業部が畑作を主とする農家経営の計画化に乗出し続いて中山の平野に中堅青壮年によつて十三夜会が生れ、又同郷の4Hクラブが熱を上げ出して来たことは本町の産業振興のために、誠に力強いことであります。中堅青壮年の皆さん五人でも十人でも同志協力して、真剣に立ち上つて下さい—**公民舘より**

野々川公民舘産業部の研究会の実況

立上る野々川公民舘

農家の經營診断で 經營の合理化と 畑作の振興へ

飛躍しつゝある世界農業の一環として日本農業もその影響を受けて転換をすべき運命にあり、すでに各先進地に於いては「農業の近代化」「適地適作」など活溌に取入れられ、着々実績を上げつゝあるが、飜つてわが波佐見町の現状を見るに、大正末期からの米麦中心の循環農業の域より一歩も前進して居らず特に畑作がその経営上比重が高い山間部落に於いてはその傾向が著しく、只僅かに茶園栽培を取入れた位いのものであつて普通畑の主要作物の値下りは他の産業部門の好況にもかゝわらず不況をかこつている現状である。この状勢に対処し「今までの農業経営がどこに欠陥があるか」と云うことゝ「畑作をどうすれば生かすことが出来るか」と云う二つの課題をもつて一月六日午前九時から野々川公民舘に於いて公民舘産業部と野々川園芸出荷組合との共催による研究会を開いた

定刻午前九時野沢分舘長の司会挨拶後、永富公民舘主事より「公民舘の産業教育活動について」の講演あり、引き続いて中川普及員より、

イ世界の農業がどんなに進んでいるか。
ロこれによつてどんな影響を日本の農業に与えているか。
ハこれにはどんなに対処すればよいか。
ニどんな点を改善すればよいか。
ホそれには各戸の農業経営の現在のあり方を診断して見てその上で合理的経営の方向に持つて行かなければならない。

と農業経営診断の必要と要旨を説明、その具体的方法を研討の結果先づ最初にその診断を自ら進んで希望する約二十戸を対象として実施し、それより全部落に及すことに決定し午前中の会を終る。

尚引続いて午后二時より「これからの畑作をどうすればよいか」をテーマとして研究会を開催

イ腕豆の栽培管理
ロ生姜の早出栽培について
ハ里芋の新品種の導入と耕種改善
ニ人蔘の春播栽培

の四項目について研究討議し、栽培管理の方法品種の改善と、共同出荷の態勢についてそれぞれの結論を得て、躍進する農業への力強い第一歩を踏み出すことに全員決意を固めて午后五時散会した。

（野々川　山下重雄寄）

十三夜会 生れる

中山郷 平野農事研究会

日本の経済事情は非常に好転しつゝあると言われるが、本町の實情はどうであろう。

昨年の風水旱害によつて本町農民の受けた被害は実に大きく、来るべき八、九、十月の端境期を如何にして切抜けるかは、今農民の大きな問題である。

中山郷平野の青壮年は茲に立上つた。会長岩永誠二君を中心に何れも一家の農業経営を双肩に荷負う中堅青壮年十五名、川内の吾作会に負けないとゆう意気込みである。

去る一月十三日その産声を上げ、毎月十三日の夜集まろうと言うので「十三夜会」と名づけられた。

農業資材の購入、作付の設計、将来は販賣加工に至るまで、すべて共同の力によつて一歩〳〵実現して行こうとゆうのである。

その着実な前進はこの会員の内容によつて大いに期待してよいと信ずる。今後の発展を望んで止まない

（福田普及員寄）

青年 中山4Hクラブ ―立上る

中山4Hクラブ（会長田崎良司）は既に共有の試験圃場も持ち、先進地の視察に行くやら、会員のプロゼクトを進めるやら、苦い情熱を傾けて次代の明るい楽しい郷土建設に進んでいる。

去る一月十六日、川棚普及事務所から講師を招いて、果樹栽培について講習会を開いた 来会者は

川棚普及事務所長　竹下技師
同　藤本技師
同　福田技師
公民舘　永富主事

柑橘、梨の栽培について熱心な指導を受けた同郷には既に梨、柑橘の栽培が始まつている若い青年諸君の眞剣な立上りを切に期待する次第である。

（公民舘）

優勝旗二本を獲得した
中山郷――婦人会――青年團の幹部

産業振興大会

東地區入賞者

（二位以下省畧）

一位

品目	郷	氏名
白菜	井石郷	中田トラ
人蔘	鬼木郷	原田伝四郎
大根	村木郷	福島友一
馬鈴薯	宿郷	内海史郎
玄米	金屋郷	永田清
密柑	湯無田	福島伊エ門
ソーケ	湯無田	徳永繁夫

團体賞　鬼木郷

南地區入賞者

一位

品目	郷	氏名
牛蒡	中山郷	吉岡早苗
白菜	川内郷 協和郷	吉田惠美子 山口和昭
茶	川内郷	山脇セイコ
玄米	志折郷	森田マツ
和裁	岳辺田	小島フサ子
洋裁	川内郷	杢尾スエ
手藝	協和郷	安永睦美

料理
一位　田頭婦人會
二位　皿山婦人會

團体賞

○産業展
一位　中山郷
二位　志折郷
三位　協和郷

○生活展
一位　川内郷
二位　田頭郷
三位　岳辺田郷

綜合
一位　中山郷
二位　川内郷
三位　協和郷

かくて中山郷は産業と綜合の優勝旗二本を獲得し、川内郷が生活部の優勝旗を獲得しました。

苗代品評会

團体
一位　川内中実行組合
二位　開田実行組合
　　　西中原実行組合

個人
一位　井石郷　中田七五三夫
二位　村木郷　沢村近良

西瓜
一位　村木郷　小島鷹次
二位　宿郷　田中孝之
　　　金屋郷　田中德市

《母子便り》―その二

九條武子夫人を偲んで

九条武子夫人が、千葉の女の囚人ばかりいる刑務所へ招かれて御話に行かれた事を、親友の梅原真隆先生に出されたはがきの中にこんなことが書いてあつたそうです。

「梅原先生、私は一昨日千葉の刑務所に行きました。多くの囚人を集めて教壇に立つた私は、自分も何時どんな動機でどんな事を仕出かすか分らぬ自分であると思つた時、どうしても囚人の前に立つて偉そうに話す事は出來ませんでした」と。

私はこの記事を読んで本当に心うたれました。囚人でも見ると自分は善人顔して如何にも偉そうに意見がましく話す人の多い世の中に、九条さんのこうしたお気持こそ、世間の人々から菩薩様の再来の様に慕われていられた理由で御座いましよう。九条さんが教壇に立たれる、とどんな罪人でも顔を上げうる人は一人も無かつたとの事です。お互に人間は色々の境遇に支配されて色々な悲劇を生じているので御座いましよう。其の日〳〵の苦しい生活が、顔に現われ口に現われ、やがては手に現われて、見苦しい悲劇が起つているのでしよう。運よくよい境遇にいる人は善人の様に見え、悪い境遇にいる人は悪い人の様に見えるのでは無いでしようか。田舎では一寸した変つた事でも出来ると、如何にも珍しげにいろ〳〵のデマを加えて悪い噂を広げていますが、お互に其の人の境遇に同情して、慰め励まし助け合つて行こうではありませんか。

お互に私達はどんな悪い境遇にいても支配されないだけの精神の修養が大切ではないかと考へます。善を見るにつけ悪を見るにつけ自己を反省し自分をへり下つて、人生を見つめて強く生きようではありませんか。

（折敷瀬一主婦）

中学文集―（一）

春を待ちます

南中一年　長与紀代美

日向ぼつこで　友だちと
ひたすら春を　待つてます
ふくれた霜やけ　あいた穴
ひりつくあかぎれ　しみるひび
春が來るのは　何時かしら
桜が咲くのは　何時かしら
おもわずためいき　つきました
春を待つてる　わたしたち

波佐見人士傳

（三）

◆田頭が生んだ
◇日本の実業家

黒板傳作氏——の巻

（その二）

公民館　永富　貢

故黒板伝作氏

鈴木鉄工所の青年技師長として、稀有の高給を貰い、又日本精製糖の囑託技師を兼ねて順風満帆の将来を確約されながら、思い切ってこの兩社ともやめてしまって、敢然独立自営への第一歩を踏み出したイキサツと云うのはこうである。

鈴木氏は日本で始めて氷砂糖を作った人で日本精製糖会社は、この氷砂糖を作るための工場として創設せられたものであった。鈴木氏は研究家肌の人で、氷砂糖の製造装置を始め、ボイラー、製塩、蒸発、醤油醸造等の幾多の装置について特許を取って居られた。

然し伝作氏はこの鈴木氏ボイラーにはなお幾多の改良すべき点があると思っていたので日本精製糖でこのボイラーを採用する話が出た時に、當の鈴木社長を目の前において、現在の装置に疑問がある点を指摘し、現状での採用に反對したのである。之は技術者としての強い信念からであった。鈴木社長も考案者の立場から強く論争しこゝに兩者の間に溝が出來たのである。「すまじきものは宮仕え」以来伝作氏はこの悩みを深くし、遂に明治三十八年思い切って両社を辞し、月島にあった機械工場を買收して月島機械製作所を創設した。

以来氏の熱心な経営技術と旺盛な研究心と誠実な取引き、巧みな人使いによって、製糖製塩等の化学機械製作を主とする同製作所は日露戦争後の好景気の波に乗って、目醒ましい発展をし、大正六年月島機械株式会社と改め、遂に東都に於て押しも押されもせぬ実業家となり、晩年には日本鋳鋼株式会社、東洋鋼株式会社の三社長を兼任した。

今同社は資本金一億二千万円、東京本社と製作所のほかに鶴見製作所と大阪出張所を有し、製糖、製塩、肥料鑛山機械等あらゆる化学機械を製作している。

現在嗣子駿策氏が同社々長と仔会社黒板工業所（株）の社長を兼ね、三男伸夫氏が工業所の専務取締役、四男邦夫氏が同所の監査役をやって一族繁栄していられるのは、全く父君の遺德である。

× × × ×

伝作氏は人心の機微に通じ、実に人使いが旨かった。

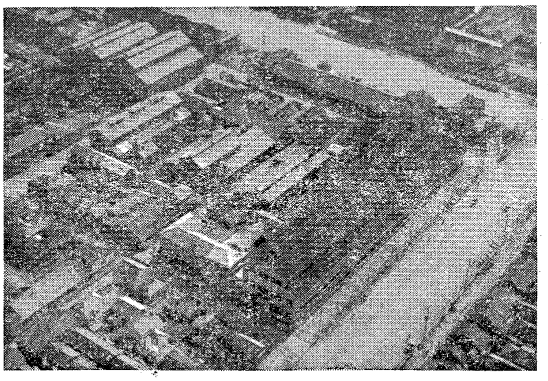
社員が下手なことをすると忽ち雷が落ちて眼の玉の飛出るほどに叱られ、これでは明日から無事に勤まるかと翌日ビク／＼もので出社すると、光風雲月、何事もなかったようにニコ／＼と話しかけて指図されるので、ホッとすると共に、自分の悪かった点を反省して今後の努力を誓ったものである。

人使いの旨かった一例として、会社のN氏がこんな話をされた。N氏が未だ若くて営業部にいた頃、ある御得意先の見積をした。社長がそれを持って先方へ出掛けられたが、間もなく電話がかゝって來て、直ぐ來て呉れとのことである。N氏が大急ぎで行って見ると先方の専務と話して居られたが「なあN君、もう〇〇円だけまけてくれと言われるんだが、どんなものだろう。何とかならんかねー」と言われる。実のところN氏より社長の方が詳しくて、値引きしても差支えないことは百も承知なのだ。それにN氏に花を持たせて、N氏がうんと言えば出来るように持ちかけるN氏が感激して承知したのは元よりである。部下使いの奥義である。

又仕事で出張して帰って来る。報告に社長室へ入った途端に社長から「やあ御苦労／＼、うまく行ってよかったねやっぱり君の腕だよ」と誰から聞かれたのかとポカンとするが嬉しくてたまらんのである。実は這入って来た時の顔色で、うまく行ったか行かぬかを判断して、先手を打たれたわけである。

この鋭敏な頭の働らきは、単に人使いのみに止まらない。外交に於て経営に於ていつも電氣のようにビリ／＼働らくのである。この頭脳に努力が加わるのである。うまく行かない筈はない。

黒板兄弟の巻ー終り



月島機械株式会社　本社及び東京製作所

ソ連から歸って
町民の皆様へ

謹んで新年の御喜びを申上げます。

扨て今回、私達の帰国に際しましては、国を擧げての皆様の絶大なる御盡力を始め、日本赤十字社並びに各種団体、在外同胞帰還促進全国協議会及び町長殿始め町民各位のなみ／＼ならぬ御配慮によるものと衷心より感謝致す次第であります。尚終戦後十一年永い間、皆様の祖国再建の為、筆舌に盡きぬ御苦労にも拘らず、留守家族に賜わりました御援助に対しましても、厚く御礼申上げますと共に、速かに日本再建の完成を祈るものです。

私達も、シベリヤに於いて苦しみの中に祖国を夢見つゝ、共に頑張って来た同胞四百八名（生存確実者）が未だに酷寒の地で肉親の愛情に温く迎えられる日を待ちわびている外中共にも戦犯者四十四名を含めて約六千、北鮮、ヴエトナムにもそれ／＼数百の邦人が残って居ります。此等の人達の救出に全力を傾注すると共に、郷土並びに祖国再建の為に一日も早く皆様と共に頑張って行きたいと思います。

何しろ十一年の浦島太郎で、西も東も分りません。今後宜敷く御指導御鞭撻の程御願い致しますと共に、紙上をかり甚だ失礼ではありますが、御礼の言葉を申上げます。

ソ聯第十一次引揚者　**柴田英紀**

舌頭火を吐く

△東中学校の　△弁論大会

生徒会の年中行事として最も重要な一つ、第五回校内辨論大会は一月十一日午前十時町公民館に於いて行われた。

出場者各級二名以上演題自由、各人の持時間五分以内という規定のもとに行われたこの辨論大会は、昨年に比し出場者は稍少なかったが、總員四十二名の辨士により、中学生としての意気を存分に發揮し、聽衆の騒音も余りなく審査員の先生方をはじめ、多くの聽衆の耳を感嘆させたが、特に昨年よりも尚一層聽衆の心に深い感銘を与え、満場の絶讃をあびたのは誠に意義深いものであったと思う。

尚来年度の大会は、一般聽取者を交え、盛大に会を運びたいと思っている。

終了午後四時、審査の結果次の様に入賞

全学年の部

一位　二つの話　三年　今田　信也
二位　努力しましょう　二年　坂井　洋子
三位　私たちの学力と環境　三年　村田　敏久

一年の部

一位　無駄のない一生　日野　泉
二位　中学生の心得　太田　秀穂
三位　自主性　山川　勝代
四位　時　宮田　達朗
五位　大切な心がけ　中川久美子

二年の部

一位　努力しましょう　坂井　洋子
二位　正真について　神村久美子
三位　あすなろと人生　入江　溪子
四位　正しい返事をしよう　内海　恒代
五位　信用される人になりましょう　松尾チサ子

三年の部

一位　二つの話　今田　信也
二位　私たちの学力と環境　村田　敏久
三位　真実の愛情　山口　富美
四位　真実の友を求めて　馬場　德子
五位　人の価値　福重　祥子

新町に寄せる

月日の立つのは早いもので上、下波佐見が合併し新波佐見町として発足以来、早や半年を経過致しました。波佐見は陶器の町として昔から知られた所で、大村藩一万石の農業もある。田舎とは云いながら割合に地理的に環境もよく、文化の流れも早いのではないかと思われる。又、名前も波佐見ーといって云いやすく、発音も簡単である。でも波佐見ーと「口に云えるようになったのも大変な苦難のコースがあったのであろうと想像されます。こんな苦難の末に生れた波佐見町であるから我々町民は尚一層努力し団結して和合の町を打ち立てなければならないと思う。

それで今までの様な町民の態度であってはならぬ。個々の立場生活条件が違ってはいても、自分／＼の教養を高めたり、研究改良にうんと精出して、安定した生活が出来るように努めようではないか。単に波佐見町になったからって、面かざりだけでなく上役職員どもの連鎖にされず、片寄った傾向にならずに町民一人々々が自覚し、互に助け合って我々の町は我々の力と頭で有意義に活かして、大きく発展するよう努めようではないか。そして勵まし合い交流し合って、小は家庭内から大は社会のすみずみまでも目を向け耳を傾けて希望を持ち努力することが、波佐見町の誕生に対して課せられた吾々の任務ではないかと考える次第です。私は波佐見町民の一員として今後も波佐見町の発展のためにがんばろうと思っておりますから町民の皆様どうぞ宜敷く御指導下さいませ。

折敷瀬青年　平尾博幸

『町民の聲』を募る

△町民の皆さんの御意見をどし／＼お寄せ下さい。
△御意見やら、御希望やら、御尋ねやら、御遠慮なく書いて下さい
△なるべくまじめな建設的な御意見を願います。
△字数はなるべく七百字以内に願います。
△御趣旨を尊重しての文句の訂正は予めお任せ下さい。
△次号は三月下旬に出します。御寄稿は三月十日まで—公民館々報係へお出し下さい。

中学文集—（二）

山

南中一年　田沢信邦

山はいつ見ても
きれい
学校に行くとき
帰るとき
山をいつも見る
高い山低い山
山はどこまでも
つゞいている

一年　本山　登

ゆるやかに
とびのまつてる　秋の空

一年　岳本史郎

霜の朝　道行く人の　息白し

心ゆたかに、暮らしは地味に。

◆教養は、伸びる婦人の、身だしなみ

生活部の行事と私の感想――その二

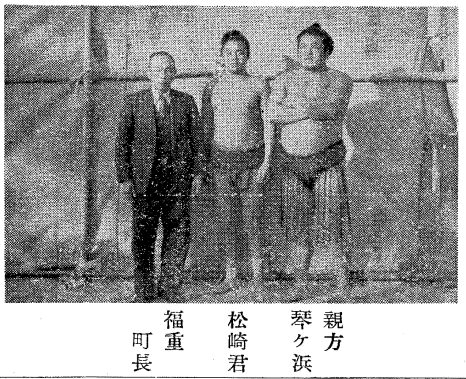
南婦生活部長　古達光枝

（つゞき）……こんな料理研究会の後で、いつわらない會員の気持を聞いて見ますと、

一、保健所の先生の申される位の栄養を日常とるのには経済が料理の方に廻りかねる。

二、農業をやつているものは、働くことの負担が多くて、気分的に時間的に趣味深い料理が出来かねる、

これが只今の農村の主婦の大きな悩みだろうと存じます。どうしてこの悩みを解決して行くかは私達の大きな研究課題ではないでしようか、副食費の経済を豊かに致します為には家計簿を反省することに依つて、他の部面から副食費の方に廻すとか、或は女だけの使える金として生産的方面の工夫をするとか、いろ〳〵工夫されるのではないかと思います又年々と田舎の方も生活水準が高くなつて参りますので、自然生活費其のものが高くならざるを得ません。も少し家族数が少かつたら程度の高い生活が出来そうだと思わせられることも、しば〳〵御座います。家族計画も自分のものとして再認識の必要があるのではないでしょうか。時間的気分的余裕につきては、家族の分担仕事とか　特に主人の主婦に対する理解を深めていたゞくとか、或は主婦自身が自分の生活を深く反省し、低い女の生活に甘んじないと云う様な事も考えられます。或る二、三の主婦の方から、「御馳走を食べるよりか十分でもぐつすり眠りたい」と云う言葉を聞きましたが、この一言でも農村の主婦の体の疲れと云うものが計り知れる様で御座います。農村の主婦をも少し明るく潑らつたらしめ、[illegible]女の特長を生かした生活の出来る政治の有り方と云うものはないので御座いましょうか。　こうした悩みを幾分でも解消して行きたい気持から、本年度より保健所の指導を得まして、「モデル料理グループ」を作つて見ることに致しまして、只今十四、五名単位のグループが三箇所まとまりつゝあります。多忙な主婦の生活の中から、この会が順調な成長が出来るだろうかと、不安に感じながらも熱心なグループ會員の皆様に尊敬と信頼の氣持を捧げるもので御座います。グループ会員のたゆまざる努力を祈りつゝ筆をおきます。



親方 琴ケ浜　松崎君　福重町長

氣の毒な少年達や老よりを慰問して

東婦援護部長　一瀬政江

波佐見中の皆様の御親切によつて集められたお正月のお餅（南地区二十六貫、東地区六四貫三〇〇匁）を不幸な方々少年院（四二メ五〇〇匁）清風園（二二メ）天心寮（二五メ八〇〇匁）お分ちする為役場の永吉さん、南地区より永冨さん外二十名、東地区より岩永会長外四名は、一月七日有名な高島真珠の山うらにある大塔の少年院を最初に訪問致しました。こゝには全国から廻されて來た二十才以下十四、五才までの少年たちが二七〇名程保護されていました。

横着そうなふてぶてしい顔をした少年が二、三名は見受けられましたけれど、殆んどの少年がこんな人がどんな悪い事をしてこゝへ来たのだろうかと思われる少年ばかりでした。家庭環境や友人関係で悪くなるのが多いそうです。こゝは收容というより保護が目的だそうで、晝間は殆んど外の少年と同じに勉強を教えられ、教室が六教室程あつて、図画など一様にはつてありました。

丁度私達が見学する頃が晝食の時間でしたので、皆さん食堂に集まつて食事が済んだ所へ案内して下さいました。そこで岩永会長から切々なお話があり、少年達も皆頭を垂れて聞き入つて居りました

私達も思わず涙した次第でした。外の庭には色々の花が植えられ唯今は葉ボタンの盛りでした。少年達の心をこれらの花によつて、やさしい心に育てる様こゝらの庭を花で埋める計画だと言つて居られました。又こゝを出てすぐ社会で生活出来る様に　理髪や指物の養成所もございまして　こゝの生徒の造つたものだという文箱など見せて貰いました。遠く親元を離れての生活なので、私達が訪れたのを大変喜んでいる様子で、帰りには私達をいつまでも見送つて居りました。そして小母さんサヨナラ又来てねと云われ、きつと〳〵来年も来ますよと心に誓つた事でした。それから青風園に行きました　こゝには身寄りのない年とつたおぢいさんおばあさんが四十七名居られ、日当りのいゝ部屋々々で針仕事などしていられました。一部屋四疊半位に三名宛居られ、玄関の横には薬局があり、一番奥の部屋はやゝ広い佛間でありました。時折皆様集つてお説教を聞かれるそうです。こゝには保母さんが居られ、洗濯、つくろい物一切して下さいますそうで、夜具など皆清潔にしていられました。　又別棟には、兩親に死に別れたり、片親居ても病気であつたりする子供を世話して居られ、お部屋も綺麗で遊び道具もよく揃えてあり、不幸な子供もとても幸せそうに見えました。

最後に大野の市立天心寮を訪ね、同じく不幸な子供たちを慰めて夕方帰途につきましたが、一同よい事をした喜びで一杯でした。

『公民舘より』

佐世保少年院長　佐藤二郎殿

市立天心寮長　田中虎雄殿

右御兩氏より援護主任及び婦人会長宛お礼状が参り、少年院の子供たちのお礼状が沢山入つておりましたが、そのうち二つだけを左に掲げておきます。

佐世保少年院

初等三室

上村勝雄

おばさん大変有難うございました。

僕は正月は自分の家で一家楽しく一つ年を取りたいと思つていましたが僕の心が弱くふとした事から悪い事をして、一年に一度の正月もこんな暗い所で送らねばならなくなりました。しかし今日はおばさん達がこんな悪い僕たちに、お餅などたくさん下さつて大変ありがとう御座います。晝おばさんが僕たちに教えて下さつた言葉は、僕が死ぬまでわすれません。今日おばさん達を見て、僕はすぐ遠いこきようのお母さんを思いうかべて　顔には涙は出しませんでしたが、心ではおばさん達といつしよに涙をながしていました。おばさん!!おばさんのあたゝかい愛情は一生わすれず。僕は今から良い人になるため、一所懸命どりよくします　僕はおばさん達をうらぎるような事はけつして致しません。今後まじめに働らいて良い人になるように決心致しました。忙しい所を大変ありがとうございました。

さよなら

婦人会の皆様へ

佐世保少年院

吉田日支雄

わざ〳〵遠い所を来ていたゞいて誠にありがとうございました。お話を聞いていると母に会つた様な気持が致しました。僕はうれしくて涙が出てたまりませんでした。そしてたくさんのお餅までいたゞいて僕達は嬉しくてたまりません。僕の家は四人家族で父母妹と僕です。今まで家の者に迷惑をかけて来ました。僕は少年院に来てから婦人会の皆様からあたゝかい言葉をいたゞいた時が一番うれしくてたまりませんでした。きつと立派な社会人となつて帰ろうと思つています。帰つても皆様方のお志は絶対忘れません。親に心配かけないよう努力し、又親孝行をしようと決心しました。本当に有難う御座いました。

さよなら

体協だより

◎西海驛伝に　波佐見チーム　第四位

県の新進として期待されている西選手はラスト早岐、佐世保間を走つて従来の記録を二十秒縮めて区間賞を獲得した。

◎長崎県一周驛伝

（二月九、一〇日）

左の六選手が出場します、皆様の御声援を願います。

折敷瀬	森秋夫	三股	田崎嘉苗
村木	西正喜	中山	長与信義
宿	竹島喜末	中尾	本山泰之

◎波佐見一周驛伝

二月十日開催予定のところ、長崎県一周駅伝のため延期致しました。

一月中の婦人学級

十六日午後一時より
永尾婦人學級
講師　尾崎小学校長

二十日午後一時より
井石婦人學級
講師　永冨公民舘主事
藤井保健婦
畔上小學校教諭
吉田小学校教諭

二十二日午後二時より
野々川婦人学級
講師　永冨公民舘主事
友重厚生課長
藤井保健婦

二十三日午後二時より
稗木場婦人学級
講師　永冨公民舘主事

◎講師は出来るだけ繰合せ御希望にそうようお世話致します。

◎御遠慮なくお申出で下さい。

◎南地区の方は支所にお申出の上電話で連絡して貰つて下さい

◎お申込はなるだけ一週間前に願います。

◎色々の御接待は決して御無用に願います

こんなに殖えた

生花学級

公民舘でやつて居ります婦人会と女子青年團の生花学級が、左の通り殖えました。わびしい農家の土間や台所に、美しい花が活けられてあることは、どんなに家庭を明るくし、訪ねた人を喜ばせることでしよう。

学級名	級長	生徒数
皿山	田沢佳知子	一八
稗	岸川シズ	二二
田頭	長岡松代	二五
岳	石田沖津	一二
甲長	松下鶴子	二四
乙長	田崎ます子	一四

以下は六月合併以後に出来た学級です

川内	杢尾スエ	一一
協和	瀧江アヤ子	二一
志折	中本朝乃	二〇
中山	原本セイ	一九
上宿	今里昌子	一八
鹿山	田中幾代	二二
折敷	出口ハス子	一六
村木	馬場久枝	二三
西原	福田文子	二七

寄贈御礼

一、圖書

（前年六月以降分）

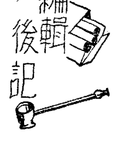
雪解、東京地下鉄、オール讀物（敬称略）　稗木場郷　宮本要子
短歌入門　村木郷　岡村正男
愛と罪　折敷瀬郷　江良登
邦枝完二集、学生時代、　村木郷　細川要
科学と空想、田園交響楽、巴里の憂鬱、　井石郷　河野伸夫
現代日本小説大系四〇全四二　湯無田郷　松村政敏

二、茶器　一組

湯無田郷白草会　石橋美代殿

右御寄贈戴きました。紙上を通じて厚く御礼申上げます。

波佐見町公民舘



△お正月を迎えて早くも一月たつた。全国民の耳を引きつけた国技舘の春場所は予想外の千代山、土つかずで優勝した。自信、信念の力は偉いものである。

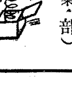
× × ×

△熱した鉄は、冷えないうちに鍛えねばならぬ。野々川の皆さん、中山の十三夜会、四Hクラブの皆さん、普及員の中川、福田兩技師しつかり頼みますぞ。

× × ×

△黒板さんの次は誰を書きましょうか。御希望があつたら、教えて下さい

（編集部）



館報
はさみ

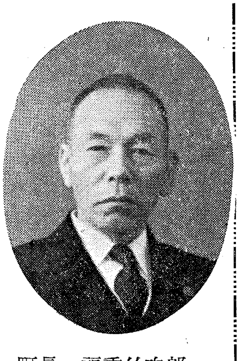
第5号
波佐見町公民館
電話(波佐見金讓局)69番
大村市玖島町
印刷所　隆文社印刷所
電話838番

議会だより

昭和三十二年度本町第一回定例議会は三月二十六日より会期を五日以内と定め、左記町長提出議案を附議し原案可決三十五件、一部修正可決二件をもつて全議案を終了、同二十九日閉会した。

記

一、昭和三十年度旧下波佐見村並に旧上波佐見町関係一般会計その他歳入歳出決算認定について、九件
一、昭和三十一年度一般会計その他歳入歳出追加更正予算案　四件
一、昭和三十二年度一般会計その他歳入歳出予算案　三件
一、条例の制定並に改正条例　十四件
一、財政再建計画について
一、財産処分について
一、西部線道路工事費充当のための起債について
一、国有林払下申請について
一、町有林の管理処分に関する契約について
一、特別会計の設置について
一、予算外義務負担について
計　三十七件


町長　福重竹次郎

本年度予算編成の方針

町長　福重武次郎

地方財政制度の改正は、目前に予想されますが、現段階に於ては自治庁からの通達の次第もあり、一應現行制度によつて編成することを原則としまして、制度の改正をまつて必要な追加更正をする予定であります。予算編成の原則は、確実な収入見通しの上に立つて通年歳出規模を定めるべきだと考えその額を六、八〇〇万円とし、積極的に歳出の節減合理化に努め、自主財政再建計画に基き、昭和三十二年度に於て、過去の赤字を解消することに計画しました。その為に、各費目に亘つて相當の縮減を余儀なくされたが、事情やむを得ないので、此の点について議会をはじめ、町民各位の御諒承と御協力を御願いしたいのであります。しかしながら昭和三十三年度に於ては、相當の自己財源の余裕が期待できるので、将来は大きな飛躍をのぞめるものと確信して居ります。最近における地方財政制度の改革は、地方財政運営の自主自律性の強化を主眼とされておりますので、自主財源の活用を図るべく、その大部分をしめる地方税の収入確保が根本であると考え、税務行政運営について特に意を注ぎ、その他の収入面についても、類似団体の状況をも勘案し、改正を要する向は若干の改正をなし、極力増收を図るべく措置しております。歳出面については、消費的経費の節約に努め、報酬、旅費等につきその金額の減額を考慮し、一般需用費については、二割から三割の節減を目標とし、事業面については新町建設計画に基き、町道西部線、簡易水道施設事業等をはじめ、出来る限りの計画を樹立し、災害復旧事業は第二年度目であるので相当多量の復旧を見込んでおりますが、執行割当、補助率　或は起債充当率等の確定を見ない今日であるので、この面については、将来変更の必要性は予想して居ります。

公債費の増嵩が目立つて居るが、この点については全国的な問題であり、政府における地方行政施策にも大きく取上げられ、公共災害復旧費分は従來通りその九五%を交付税で保証し、単独災害分或はその他の公共事業費分についても、新にその五〇%程度を見込んであるので、直接負担の範圍は約二割程度であります。

昭和三十一年度の決算による赤字額は三〇〇万円に止める予定でこれが補塡金を當初予算に見込んで居ります以上は編成方針の概要でありますが、町民の皆様も財政の健全化に一層の御協力を御願いしたいのであります

× × × ×

昭和三十二年度　一般会計予算

歳入	百円	
町税	三一四八六五	四六、三%
地方交付税	一一六四〇〇	一七、〇%
公営企業財産収入	三八一〇	〇、六%
使用料手数料	二〇一三一	三、〇%
国庫支出金	八二五八七	一二、一%
県支出金	三五七六五	五、三%
寄附金	三八〇九六	五、六%
雑收入	一三四六	〇、二%
町債	六七〇〇〇	九、九%
計	六八〇〇〇〇	

歳出		
議会費	一二四二四	一、八%
役場費	一五〇一四六	二二、一%
消防費	一六七四五	二、五%
土木費	一八〇四一七	二六、五%
教育費	七六八四六	一一、三%
社会及労働費	一九八八一	二、九%
保健衛生費	一七五七三	二、六%
産業経済費	六一五六八	九、一%
財産費	七四二三	一、一%
調査統計費	一一七三	〇、二%
選挙費	三二九一	〇、五%
公債費	六〇八七五	九、〇%
諸支出金	六九五三八	一〇、一%
予備費	二〇〇〇	〇、三%
計	六八〇〇〇〇	

（くわしい内容はそのうち役場から経済白書を出しますので略）

役場だより

一、町村合併に伴う新町建設計画の主な事業として取上げられていた町道西部線の第一期工事は（川棚町境から志折まで）総工費五六〇万円と關係部落民の汗の奉仕によつて、予定の通り四月十日巾員六米、延長一、七六〇米の工事が完了した。なおこの工事は前年度から昭和三十四年度までの継続事業で村木、有田町境まで総延長七、八八〇米、総工費二、三一〇万円で引続き工事が行われる

一、南中学校ではかねて割烹室の新設を強く要望しておられたが、経費その他の事情で延び〳〵になつていたが、工費一三〇万円を以つて、年度内に完成した。これは生徒の教育上至大な効果が擧げられることは勿論、各種の料理講習会等に利用して戴きたい。

一、毎年のように氾濫する波佐見川の水防対策のため一八万円の予算をもつて、現在の南支所横に建坪一二坪の水防倉庫を新設し器材を整備して、いつでも消防團員が出動して水害を最少限度に喰い止めることになつた。

一、町内長野郷にある国有林約七〇町歩の払下げを受くべく、去る三月二十八日福重町長、田川助役、上田、中尾正副議長の四名は同道して武雄営林署を訪れて、申請書と請願書を提出した。

一、南地区では部落総代や納税係の御協力で昭和三十一年納税を完納した。

あなたの命は狙われている？

といつたらそんなバカな……と一笑に附する方があるかも知れませんが、少し落着いて周圍を見廻すと「ナルホド」とおわかりになる事と思います。

○それは夏の伝染病です麦が色づくと共に伝染病も色づいて参ります
○命をまもるために
○元気で仕事が出来るために
○そして家内全部が幸福に生活出來る為に

赤痢、疫痢の予防に努めましよう。

1 食事の前に必ず手を洗う
2 生水を飲まない
3 生物はなるべく食べない
4 暴飲暴食をしない
5 子供には腹當をして寝せる
6 便所にはカラン式手洗器を
7 ハエの驅除
8 子供のようすに注意する
9 早く医者に見せる

県知事より表彰を受く

○春の大掃除は皆さんの御協力でりつぱな成績を収めることが出来ました。
○今回県知事よりモデル衛生町として表彰を受けました。
○皆さんの御協力に深く感謝致します

犬の登録と狂犬病の注射について

○四月以降犬の注射と登録をしてない方は早く役場衛生係へ届けて下さい
○狂犬病の注射は原口獸医師のところで受けて下さい。
○登録は役場で受けて下さい。料金は三百円です。
○注射済票交付手数料は二〇円です。
○注射代は獸医師に払つて下さい。

（注意）
登録と注射を受けていない犬は近日捕獲しますから念の為、お知らせします。

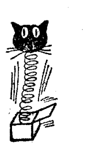
（厚生課衛生係）

保存食

今こそ婦人の力を

○田植時にはウンと榮養をとらねばなりません。
○榮養の多い保存食を今から作つて用意して下さい。

ウマイもの食うて
ウンと働らきましよう



自転車は　どうして盗まれるか

盗み易い場所

一、会社、銀行、デパート、市場、パチンコ屋、飲食店等の前に置いてあるもの。
二、家の前に置いてある自転車—安心しているのと、話が長くなる場合が多いので家の中に入るのを見届けてからやる

盗み易い時間

人の落付きのなくなる夕方が一番盗み易い。

盗む方法

一、カギのかけてない自転車をねらう。
二、会社、銀行、デパート、市場、パチンコ屋等の出入口で、さも客人のよう見せかけ、自転車に乗つて来るのを待つてカギをかけるかどうかを見とゞけ、カギをかけない自転車は片つぱしから盗む。
三、人が注意していないような車を見つけると盗む。
四、二人でやる場合は一人が自転車を置いた人がどこに行くかを見とゞけるためにその人の後をつけて行き、盗まれると思うと手で合図して一人が盗んで逃げる。

交通事故

交通事故！なんと陰うつな響きのある言葉でしよう。長崎県下だけを考えて見ましても、昨年中の交通事故は一、一七一件であり、死者七六名負傷者一、一二三名それに物の損害はなんと一、四六〇万円以上に達しているのです。この事故の殆んどが、自動車による事故でありますが、その責任は必ずしも自動車にのみ負わせる事は出来ないものがあると思われます。もすこし歩行者や、その他の人が注意してくれたなら、この事故は防げたであろうと思われるのが事故の六割以上となつています。お互の一寸した注意や思いやりの心、これが事故をなくす大きな力です。道を歩くとき、乗物の乗降、車の運転等のときだけではありません。

只今でもあなたの周園に事故を起す原因となるものが、いくつもころがつているのではないでしようか。お宅の可愛い子供さんは、今頃どんな所でどんな遊びをしているでしよう。道路を行く場合、正しく右側を通つておられるでしようか。交叉点や通路の横断には、気を配つておられるでしようか。お店の前には、品物が通路にはみだして通行を妨げてはいないでしようか乗りすてた自転車が自動車や人の通りをじやましてはいませんか。一寸気をつけて見て下さい。こんなことに気をつけて頂くことこそあの悲慘な事故をなくすることゝなるのです

川棚警察署長

館報「はさみ」第三位入選

去る二月行われた県社会教育課主催の県下公民館報コンクールで館報「はさみ」は第三位に入賞致しました。皆さまの御協力にお礼申上げるとともに、今後一層の御協力をお願い致します

昭和三十二年度
公民館の事業計畫

こんなことを　やりたい

合併初年は兩地区の公民館や婦人会等民主団体の活動状況を静観し調整する時期でありましたが、いよ〳〵その実情に即して、今までの運營をより効果的に進めると同時に、左のことをやることになりました。皆様の御協力をお願致します。

一、図書文庫の貸出し

現本公民館の図書は本館八二三冊、南分室四一〇冊、計一二三三冊（うち新本一二五冊）あります。之を文庫（一箱約二〇冊入る）に入れて熱心な御希望の分館や婦人会、青年団の支部に貸出すことになりました御希望の部落や団体がありましたら、取扱う責任者を定めて公民館又は南分室へ御申込下さい。毎月責任者が來て取りかえること。

二、公民館報に町民の聲を

館報は今回だけ多忙のため一寸遅れましたが、今後七、九、十一、一、三月と奇数月下旬に発行致します。町民の世論を町政に取上げることは民主政治の根本です。皆さまの御意見やら御希望、お尋ねを遠慮なくお出し下さい

1、まじめな建設的な意見を
2、字数はなるべく七〇〇字以内
3、なるべくやさしい字句を使つて
4、御考えを尊重しての訂正や取捨は予めお任せ下さい。
5、原稿は奇数月の五日までに公民館へ

三、モデル分館の研究発表会と分館運營研究会の開催

モデル――宿分館　適当な時期に全町内関係団体幹部が宿分館に集つてその第一回中間発表会を見學すると共に、引続き分館運營研究会を開く。

四、移動公民館の開催

適当な時期に役場、農協、学校、警察等と話合つて、各分館を廻つて、各受持の行政事項につきお話をし、又町民の希望世論を聞くために懇談する。

五、講演会、講習会の開催

精神方面の講演会一回、時局講演会一回を東南二ヶ所で開催する外、産業生活関係の講習会を数回開催する。

六、視聴覚教育の活用と技術者の養成

1、分館巡回用の移動暗幕を備えたので、幻灯やテープレコーダによつて視聴覚教育を活用する。

2、農協青年部、農事研究会、青年団等からまじめで熱心な人をすいせんしてもらつて、幻灯機、映寫機テープコーダー等の操作技術講習会を開いて、技術者を養成し、どん〳〵各種の会でやれるようにしたい。

附記

現在あるスライド

（**産業用**）
並河成資―農林一号の研究者
稲の生いたち
苗床作りのこつ
増産のカギ　**加里肥料**
促成堆肥の　**カンドコロ**
石灰窒素の　**使い方**
下肥の科学
立上る青年の村
建設の誓
自動車の　出來るまで

（**生活用**）
栄養の常識
農繁期の栄養
作業衣の改善
家事と健康
職場と健康
兄さんの結婚
嫁の座
結婚改善の道

（**物語り娯楽用**）
とんち教室　成人学級の巻
福沢諭吉（二巻）
しんらん
新平家物語

（**子供向き**）
鐘の鳴る丘―三巻
子狸のしつぱい
こども話の泉

（最近買入たもの）
歌謡曲、物語り入り「レコード」二枚つき「**母千鳥**」
寿々木米若吹込み浪曲レーコド二枚つき「**阿波の鳴戸**」

村木4Hクラブ員の共同研究田の開墾

盛んな農事研究の熱

川内郷吾作会の研究発表会と表彰に刺げきされて各部落青壮年の農事研究熱は中川、福田兩地区普及員の指導と相まつて、一層盛んになりつゝある。今度上の農協に専任の營農指導員―沢田技術員が来られたので、大いにその御努力を期待している次第である。

（公民館）

農事研究会の現状

部落	会名	員数
川内	◎吾作会	一六
〃	川上研究会	二五
〃	黎明会	六
〃	若葉4H	一二
岳辺田	◎尊徳会	二三
〃	◎十六夜会	一六
〃	丸尾同志会	一二
中山	十三夜会	三二
〃	みずほ会	二〇
〃	睦青会	一五
〃	中山4H	一五
乙長野	尚農会	二〇
田頭	牧内農研会	一〇
甲長野	長野〃	二五
碑木場	碑木場〃	一五
東地区全域	上波農協青年部	一九
全町	梨研究会	支部
野々川	園芸研究会	
〃	果樹〃	
〃	経営〃	
〃	野々川4H	一五
村木	◎村木4H	一六
折敷瀬	折敷瀬4H	

（備考）◎印は共同研究の圃場を有するもの

研究会で「やったこと」

十三夜会　会長　岩永誠二

1、共同栽培計画と出荷計画の話合い
2、西瓜と茄子の栽培について相互研究
3、いも「寿」の共同温湯消毒と栽培法の研究

十六夜会　会長　今里甚太郎

○共同肥料試験田の共同中耕
○共同温床の踏込
○茄子と西瓜の栽培について相互研究
○共同試験田の作業
○共同育苗について協議、蔬菜栽培の相互研究

尊徳会　会長　泉浅夫

○蔬菜栽培の研究
○共同肥料試験田の共同作業
○水稲の施肥設計の相互研究

丸尾研農同志会　会長　柿川八造

○蔬菜栽培の研究
○温床踏込の実地研究
○西瓜栽培の相互研究
○茄子〃

（福田普及員寄）

（上手な稲つくり）

○地力を作るが第一
○健苗は秋のみのりの基礎になる
○浅植するほど実が多い
○適当な株数植えて穂数をふやす
○肥料は上手に、むだがなく
○手入れは適期に、完全に
○穂肥は、適期に、適量を
○土用にほして、落水のばせ
○めい虫、ウンカに油断なく
○乾燥よくして、よい米とろう

（福田普及員寄）

寄附御禮

井石郷
山川菊松殿
金五千円也

右は亡父音吉殿の忌明に当り追善のため公民館施設費として御寄附を戴きました。
茲にお礼を兼ね公告致します。

波佐見町長
波佐見町教育委員会
波佐見町公民館

橋本専務表彰さる

上波佐見農協橋本専務理事は、三十一年度貯蓄推進中央表彰において、大蔵大臣と日本銀行総裁の表彰を受け四月十五日、日本銀行長崎支店に於て、表彰状伝達が行われた。

仝氏は大村銀行、親和銀行に永年勤務し、引続き農協専務に就任し、貯蓄の増強に努め昭和二十八年十一月に県下農協初の一億円貯金農協を樹立した功労者として表彰を受けたものである。

農業の先生

上波佐見農協
營農指導員設置

上波佐見農協は三十二年度の新規事業として農事相談所を設け専任の營農技術員を置き、營農指導に専任する。

營農指導員　**沢田健兒**

仝氏は東彼千綿村出身、県立諫早農学校卒、県立農業試験所二ヶ年、国立興津農事試験所を本年三月卒業し、長崎県農業試験所長のすいせんによつて着任したものである。

御あいさつ

「人は環境によつて育つ」児童は良い環境にさえおけば自然にでもあるていど正しく善良に育つて行く。南小学校は、田園の静かな自然の美しさの中に人工の美をそなえた実に理想的な教育環境であると申されましよう。一歩校庭に足を入れると明るい校舎、よく整地された運動場、手入れのとゞいた庭木が喜んでむかえてくれる感がいたします。そして八百有余の児童は幸福そうに、明るく伸び伸び育つています。これこそ先輩以来の教育を愛する本町のでんとうと、最近数年の間にこれだけの教育施設を整備された町当局や育友会を始め全町民の御努力のたまものと信じます。私は幸い本校に職を奉ずるようになりまして皆様の御支援のもとに先任者の業績を引きつぎ本校の教育を守り育てるために微力ながら努力精進致したいと念願致して居ります。御指導と御後援をお願い申上げまして着任の御あいさつといたします。

南小学校長
石丸仁策

嬉しい話

東中学校

本校卒業生川竹隆信君は、長崎の高橋洋服店で修業中でありますが、去る三月次の様な手紙を添えて、金千円を寄贈してくれました。生徒感謝すると共に、学習に必要な教具を買い、同君の好意にこたえたいと思つています「春ともなればほんとうに晴[illegible]持が致します。先生もお元気の事と思います。僕は母校と別れて長崎に出てからまる三年になります。中学校時代が一番楽しい時代でした。汗を流して働いた事も思い出の一つ、校庭の木々もだいぶ大きくなつて春を待つている事でしよう。…（略）…僕が自転車を拾つて警察にとどけていたら御金をもらいました。少いですが何かの役にたつたらと思い學校にあげます……」

青少年不良化など心配されている今時、ほんとうに感心な青年だと思い御紹介をした次第であります。

国民健康保険の療養担当者の指定

本年四月一日から本町国民健康保険と東彼杵郡医師会と診療協定を結びましたが受診証に担当医一覧表に明示して居りませんので御承知下さい。当医薬分業実施に伴い本県薬剤師協会との間にも協定成立しましたのでお知らせします右協定により新たに指定された本町在住の担当医及担当薬剤師は左記の通りです。

岳辺田郷　醫學博士　小高居薫
井石郷　薬剤師　河野光子

（注）
1、国保の給付を担当する医師歯科医師から交付された処方箋を提出して給付を受けて下さい。
2、町外の薬剤師から薬剤の給付を受ける場合は別に一部負担金を窓口で支払つて下さい。

波佐見人士傳

（四）

◇一書生から
東京、銀座
◎本田耳鼻咽喉科病院長

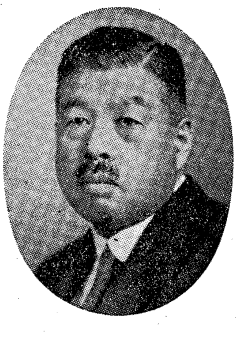
医学博士

本田雄五郎氏――（その一）

公民館　永冨　貢

（はしがき）

前号までに黒板博士兄弟の巻が終つた。今度はいよ〳〵旧上波佐見の人を書く番である旧上波佐見で先づ取上げねばならない方は、故人では一瀬操氏、小川寅治氏の御二人であろう。然るに今まで多忙のために御兩氏の事蹟を調べる暇がなかつたので、取敢えず中間的存在として、材料の整つていた本田雄五郎氏を掲げることにした。一瀬氏と小川氏とのことについて御承知の方は、材料を御教示下さるよう、お願します。


故　本田雄五郎氏

雄五郎氏を知らない人も父君「同俊様」とゆうお医者様の名は年よりの中で知つた人があるかも知れない。

本田家は代々医を業として、上波佐見村に開業して來た。祖父仲山先生は寛政年間大村藩の藩校に學び、二十才で京都に学び更に三井とゆう大家について眼科を専攻し、故郷波佐見に帰つて宿に開業した。医学未開の當時既にソコヒの手術をしていた。その名声を伝え聞いて四方から患者が殺到し、宿の町は時ならぬ繁昌を呈したとゆうことである。

本田家の墓は鹿山と教法寺裏にあるが、鹿山の仲山先生の墓碑は立派な自然石に「本田仲山先生の碑」としてある。

父君同俊氏は仲山の第四子として鹿山で生れ、十八才の時熊本に行き、更に京都に上つて眼科の奥儀を学び、二十四才で波佐見に帰つた。後分家して八島に医院を開いたが忽ち繁昌して、沢山の弟子が四方から集まり、藩公の侍医になれと懇望されたこともあつた。

然るに不幸にして患者の濃を感染し、突然の激痛と共に数日にして兩眼ともつぶれてしまつたのである。

然し氏は天を恨まず親切に患者に接し、盲目の身を以て後蘭医を学び、相ノ浦、内海、に診療所を出したこともある。

××××

雄五郎氏は明治十年同俊氏の二男として八島で生れた。六才で鹿山の小學校に入り一瀬操校長、三車お凉、小林九十郎先生に教わつた。當時田頭から通つていたのが神童と言われた黒板伝作氏で、優秀な雄五郎氏も伝作氏には頭が上らなかつたとゆう。

十才で鹿山高等小学校に入り、翌年は早岐第十一高等小學校に入つた。當時の学友に岩永清四郎、一瀬富松、川棚の金滝大八郎先生等の名が見える。

これまでは盲いたりと雖も病院は繁昌し数人の書生も居て、雄五郎氏は何不自由なく過したのであるが、不幸は思いもかけず突如として、しかも打続いて起つたのである。この不幸が後年の銀座、本田耳鼻科院長を作つた原因であつたろうが、神ならぬ身の知る由もなかつたであろう。

××××

第一の不幸は倒産であつた。金銭に淡白だつた父君は親戚の某氏の借金に保証をしていたが、遂にその借金全部を一人でかぶることになつたのである。

父君はこれを天運と諦らめ、所有の田畑家屋敷を全部売払つてその返済にあて、江良山に移つた。

相続いで起つた第二の不幸は、長兄俊一郎氏の急死であつた。長崎の医学校を卒業して北松の宇久島に開業していた俊一郎氏は　父家の倒産後間もなく腸チブスにかゝつて急死したのである。

倒産を悔まなかつた父君も、唯一の頼みであつた長男の急死には失望落胆の極に達した然も第三の不幸はその直後又も本田家を襲つたのである。

長男の葬儀のため父君が宇久島に行つての留守中、江良山の家は火事にあつて一物も残さず丸焼となつた。そして又八島に帰つたのである。

これが雄五郎氏十一才の時である。たつた一年の間に本田家は嘗ての豪家から無一文に没落し、頼みの長男は亡くなつた。さすがの父君も茲に前途の希望を失い、転々として西ノ原に移り、更に宿に帰つた。心身共に衰えた父君は四年の後赤貧のうちに亡くなられたのである。その時雄五郎氏は十五才、早岐高等小学校五年生であつた。そして翌明治二十五年こゝを卒業した。この数年雄五郎氏は夏冬一枚の着物で過されたとゆうことである。

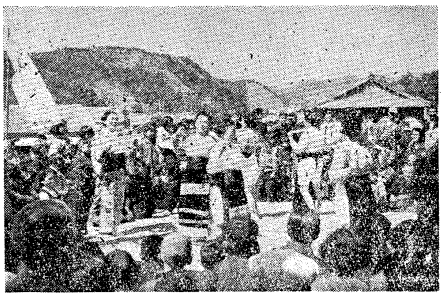
父君の死後、本田家は益々没落の一路をたどつた。收入がなくなつたのである。度々親族会議を開いた結果は

一、母君は実家黒板家（当時皿山、現在乙長野に（住）に帰る
二、雄五郎氏は書生に出して医學を勉強させる。
三、妹あい女は小学校をやめて親戚の川棚村石木、一瀬家に見習奉公に出す（後一瀬家に嫁し現存）
四、母君の生活費は未納の薬代を取立てゝ之にあてる。

かくて一家分散した雄五郎氏は、卒業の翌月五月一日瀧川医院の書生として住み込んだのである。これから愈々雄五郎氏の発奮苦闘の生活が始まるのである。（以下次号）

折敷瀬公民館

増築落成


折敷瀬公民館の落成式
余興の相撲踊り

折敷瀬公民館では総代田中千一氏を始め分館長池田正道氏その他左記委員の世話によつて疊敷の会議室（一二疊）、番人室（四疊半）炊事場をふくめた建坪一二坪半、巾三尺　長さ二間半の図書棚を増築していたが、美事に完成し、去る四月四日部落総出で落成式を擧行した。

總経費約五〇万円の郷金と郷民の勤労奉仕により工事は山口義夫氏の請負による。なお一万余円によつて六〇冊の新らしい図書も購入し、番人として前尾夫妻が住込んでいる。同郷幹部及び部落民の社会教育に対する熱意に深く敬意を表する次第である。

委員長　田中千一
委　員　神近近六
〃　川口仁平次
〃　山口儀太郎
〃　藤川準一
〃　朝長周一
〃　浦田彌四郎

東婦人會

まんまく寄贈

東婦人会では、今度閉会記念として公民館舞台用のきれいなひき幕と中学校楽器代の一部を御寄附下さいました。これは婦人会の尊い記念として、永く学校の学芸会や、その他一般の演芸会に利用され、情操教育のために大きく役立つことゝ思います。

いずれ農繁あけ後話合いまして、適当な幕開きの演芸会を致しまして、謝意を表したいと思いますが、茲に公告して東婦人會の方々に御礼申上げます。

波佐見町公民館
〃　東小学校
〃　東中學校

うんと「分校の御利用を」

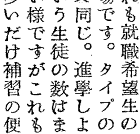
波佐見分校もこのところ新館の増築を見て大体教室のゆとりも出來ましたし、温室其他の施設面も漸を追つて充実しつゝあり、まだまだ残された問題はありますけれども一應ここまで持ち来されましたことは町御当局並びに御有志の御理解なり御厚情によるものと厚く感謝致しております今年度の卒業生もお蔭をもつて全面的に就職致しましたし、進学受験の生徒もそれ〳〵入学致して居ります。どうぞ今後とも町に一つの高校として十二分に御利用下さい。もちろん定時制高校と云う立前から働き乍ら勉強する、労働の余暇を百%利用するのだ、そういう努力を惜しまぬ生徒を希望します。出校も一日おきだし、それぞれ休暇も与えられますので家事の手伝いかたがた結構通学出来るようになつて居ります。生徒の学費も月謝其の他合算して全日制の約半額ですみます。感心な生徒は月謝の殆んどを自分でかせいでいるものもあり、女生徒は女生徒なりに學校の施設を利用して洋裁から編物、手慣れた生徒はお召しから結婚衣裳迄引受けてアルバイト致して居ります。温室栽培は男生徒の希望であり四季それ〳〵の花卉栽培から蔬菜の抑制栽培等随分と生徒も張りきつて居ります。月例の珠算の校内競技会、これも就職希望生の練技場です。タイプの練習又同じ。進學しようという生徒の数はまだ少い様ですがこれも数が少いだけ補習の便宜もあつて現在まで百%合格と云うすばらしい率をあげて居ります。現今の神武景気といつても世の中は浮き沈みで矢張り落ちついてくれば高校卒業の資格がものをいゝます。たとえば自衛隊の諸君が高校卒業の資格を得る為に過度の訓練のかたわらわざ〳〵定時制を選んで来ていますのもその資格の如何にある様です。

本年度は入学生徒数四十二名。特に今年は新築校舎の余裕もあつてはばひろく募集したわけでしたが所謂世間の景気に左右されて中学生の就職がどつとその方に向つた為、幾分減少を来したものと思われます。世間の景氣と逆比例して進学率が落ちると云う妙な現象になつてまります。然しこれは我々としても余程考慮を要する問題でして、波佐見町の今後の文化面の上からも心せねばならぬ問題であると反省させられた次第です。分校としてもまだ〳〵研究を要する面もありますので今後とも何卒各方面について一層の御指導御鞭韃を御願いしたいと存じます。

尚御紹介致しておきますが、此度川棚本校の佐々木校長が大村高等學校長に御栄転になりその後任として西彼高校から板橋勉校長が來られました。分校は松岡先生が佐世保南高校に御栄転、後任として北松南高校から九州大學御出身の藤戸光次先生が赴任致しております。担当科目は社会英語、以上お伝えしておきます。

川高波佐見分校
分校長　浜本国雄

切り花を永くもたせるコツ



切花としてきれいに活け、すこしでも永くかざり、眺めようとするには、花を永もちさせねばなりません。このコツを御紹介致します。

1、低温と多濕

温度を低くして湿気の多いようにすること。

そうすると花の呼吸蒸散作用がゆるやかであるため永保ちしますので、くもつて風のない涼しい日の朝か夕方に切ること。葉は全体の三分の一ほど下から除くこと、霧吹きをして、油紙で包むこと。涼しい室内におくこと等が必要です。

2、切り時

ゆり、しやくやく、ばら、貝ざいく等はつぼみの時、菊、スイトピー、カトレヤ、らん類は満開の時、段々に咲く金魚草、ルピナスストック類は最初の花が咲いてから切つた方がよい。

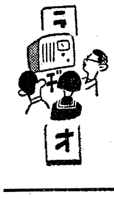
3、水揚げをよくすること

切口をつちでつぶしたり、割つたり、木片をはさんだりすれば水にふれる面が多くなる塩をもみこんだり、熱湯やすにつけれぱ、吸水を良くし、炭火で焼けばくされをふせぎます。とくに、きく、ぼたん、ききよう等は焼くか、茎の汁を水で洗い落す必要があります。

4、水をかえること

水温は攝氏五～十度がよく、たび〳〵水をかえ、同時に容器についているあか等をよく落し腐れを防ぐこと等は切り花を永もちさせるコツであります。

川高波佐見分校
教諭　馬場



サイレンを鳴らし續けて二十三年

中尾の馬場淳氏一家

自分だけの世話で手一杯!!そんなせちがらい世の中に、二十三年間も部落のために時報のサイレンを鳴らし続けた一家がある。それは中尾郷の馬場淳氏（六〇才）一家である。

中尾に窯業家たちの発起でサイレンが据えられたのは、昭和十年の十一月であつた。が、さてサイレンを据えて誰が之を鳴らすか？これは当時大事な問題であつたろう。余程責任感の強い人でなければならぬ。この白羽の矢が立つたのが馬場氏である。――（私は戦時中翼賛壮年団の役員仲間で同氏の人格をよく知つている。今度同郷保育所主事の財津氏の紹介でこの事を聞いて、なる程よい人が居りもしたし、亦よい人を見つけたものだと、今更当時の同氏を思い浮べて回旧の念を新にした）

馬場氏は部落の要請に應じて快よく承諾され、サイレンは同家の屋上に据えられたがその後現在の公民館の庭に移された。

爾来二十三年といえば二昔以上である。

こんな仕事は全く椽の下の力持である。舞台裏の道具師である。サイレンを聞く人はサイレンが鳴つているなーと思ふだけで、一分でも違つては済まないとその時刻になると仕事も手につかないでサイレンのスイッチをに・らんでいる人があることを考えない。そして一寸でも早かつたり遅れたりすると苦情を云う。

当時は十時間労働で午前と午後二回の休みがあつた。始業、午前の休み、正午、一時、午後の休み、終業と鳴らすのは一日八回である。それも時期によつて違う。終業の時間を早く鳴らせば工場主が好かない、遅く鳴らすと従業員が不平だ。刻々の時報、戦時中の空襲警報、実に責任が重い。他人に頼むわけには行かない。誰かは家に居ねばならん。日曜も公休もないのである。それもこれが商賣とあれば仕様がないが淳氏も奥さんも、ずい分嫌な思いをされたことが度々であつたろう

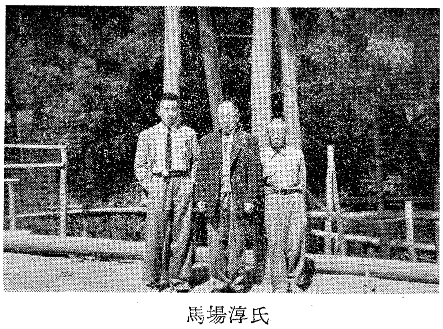
それをジット堪え忍んで二十三年も黙々として続けて来られたことは、全く同氏なればこそで、本當に頭が下ることである。それで今日でもその時刻になると、自然と身体と指がスイッチの所に行つているとゆう。永年の訓練はえらいものである。

淳氏は戦時中役場へ勤め、町の翼壮副団長をして居られた。終戦後家庭に入つて父祖の業窯焼を始め、現在では長男英男氏が京都大学の専科を卒業して家業を扶け、二男毅氏は川棚町長竹内氏（淳氏の実弟）の嗣子となり今は孫さんも出来て、言はゞ老後を楽しむ境涯にあるが、同氏はこんなことを公表することを好まれない。従つてこんな美談はとかく世に埋もれ勝ちである

× × ×

こんなことを発表して、私は却つて同氏を束縛することになりはしないかと考えたが、美談は美談として公表することが、世を明るくする大きな力で、公民館の仕事だと考えたので、丁度今年の「時の記念日」に当り、財津氏の御世話によつて、町民の皆様に思切つて御紹介すると共に、私は謹んでこの文を一昨年亡くなられたトシエ夫人の御霊前に供える次第である

（公民館　永富）



馬場淳氏
長男英男氏　財津主事

○六月十日は

時の記念日

○あらゆる会合が時間通りキチンと行われたらどんなに気持ちよいでしょう。亦どんなに私たちのためになるでしょう

○時間励行は新生活の大事な第一歩ですがこれが全町内に行きわたるのは果して何時でしょうか？

○「ひとに迷惑をかけては済まない」とゆう自覚と責任感があれば今直ぐでも出来ることではないでしょうか？

時間を守るには

1、会をする人は守られる時間をきめる ―― 親切心

2、会員は「遅れてはすまぬ」とゆう責任感

3、定刻に始めて予定の時刻に閉会する会議進行の技術が必要です。

時間励行　五分前には会場へ

青空子供会

湯無田育友会
八班　石橋美佐

湯無田の支会が子供クラブのモデル支会に選ばれてから約一年、今では各班に子供クラブが七ッも出来て、皆それ〳〵活潑な歩みを見せて参りました。

子供クラブがうまく育つには、何としても親達のおしつけではなく、子供達自身がやろうとゆう気にならなければなりません。

それで私たちは先づ既に早くからやつて成績を上げて居られる寺田さん達の「よい子の会へ」見学にやりました。そして子供達が自分たちも是非やろうとゆうことになつて、生れたのがこの「青空子供会」でございます。

会長と司会は高学年の子供が交たいでやることになりました。これは誰でも自分の意見をしつかり述べる訓練になります。

その外に会計、連絡記録、体育と四ッの係りが居ります。

例会は毎月二回、土曜の夜に開き、初めと終りに左の五ッの誓を読むのです。

1、仲よくしましょう
2、あいさつをよくしましょう
3、うそを言わないこと
4、時間を守りましょう
5、よい事は進んでやりましょう

子供たちで、はんだん出来ない時は、私たちが出ます。時には「おばさん何かありませんか」と聞かれます。その時だけは先生になつたような気持で私たちも嬉しくなります

最後のレクレーションは、やはり子供たちの一番楽しいものゝようです。

会の翌朝は道路の掃除をすることになつて居ります

こうしてよい事は進んでやる気分が自然に出來てあいさつをよくする、お手つだいを進んでやるようになりました。

学校の成績のよい子、悪い子にかゝわらず、とにかくよい社会の子に育てる事自分の子、他人の子とゆう区別を捨てゝ、神佛の子を育てるということは私達育友会の務めであり、また楽しいことでございます。

子供たちがこの上ともよい子になつて呉れますよう、先生を始め皆様の御協力をお願いする次第でございます。

× ×

満十才になつた中学校

去る四月二十三日は第十一回目の開校日でした。丁度満十年になりました。昔から十年一昔と申しますので早いものです。

十年前小学校の北校舎（今はない）を借りて発足した中学校には、机が無くて板の間に座つて勉強したり、教科書がなくてプリントを読んで勉強したりした当時を思うと、当時の生徒諸君に気毒でなりません。而し百坪ばかりの三角形の運動場でダンスを習つていた女生徒の諸君　思い出になりますね。而し今は校舎も校庭も立派になり、あちこちの地方から視察に見える様な学校となりました。一冊もなかつた図書も今は図書館となり、実験も出来るようになりました。

陶器の町で名も高き
清き流れの波佐見川
黄金波打つその里に
我が学び舎や
そゝり立つ

と生徒は高らかに歌つて、幸福な中学生生活をおくつています。これも町民の皆さんや十年間の職員生徒諸君の汗の結晶だと感謝せずにはいられません。二、一五九名の卒業生諸君、この機會に一度母校に集つて當時の思い出話しでもして見たらどうですか。学校としても、十周年記念事業でもと思つて見ましたが、それもまだ出来ませんが、十周年に当り館報を借りて卒業生諸君の御幸福を御祈り致します。

東中学校長　野沢栄治

中陰の供物について

生活改善のさけばれている今日、結婚式は大変改善された様に思いますが、私は死後の中陰の供物について、少々意見を申述べたいと思います。どこの御家庭でも、御不幸が出來ますと、中陰に沢山の御菓子や果物や砂糖を供へてございますが御菓子や砂糖も少しは必要でございましようしかし親戚の多い御家庭では、中陰に置き場もない位沢山供へてございますが、その中の二、三人でも、御菓子や砂糖の代りに、家庭に必要な品物を上げていたゞいたら、どんなにたすかる事かと思います。裕福な御家庭にはそんな必要もございますまいが、一般の家庭には、洗桶や鍋や小皿等、高価なものは二三人で話合つて上げて下さつたら、供養をするのにすぐに役立ち、後々まで故人の記念品として残るのでは無いでしょうか。中陰は故人の冥福を祈る時機でありますのに、供物に心を取られ、つけた名札をいつまでも読んでいられる方もございます。夏になると御菓子や砂糖には蟻が沢山たかつて、大変困つたと云う話も聞きますが、少しでも無駄を省くと云う事は新生活運動の第一歩ではございませんか。

折敷瀬郷　一主婦

ビルマ帰還者と御遺族の皆様へ!!!

ビルマ戦没者合同慰霊祭並に「雲龍会報発刊」に当り、在町ビルマ帰還者及び御遺族の方々に、本紙をもつて御報告を申上げる機会を得ました事は、誠に感謝にたえません。

昨年四月二十七日佐賀市におきまして、ビルマ方面遺骨送還並現地追悼の任を受け、無事帰朝されました美山団長並に杉沢派遣遺族代表の御兩氏の御参加を戴き、佐賀県を始め、各関係諸団体の後援の下に、多数の御遺族、帰還者、来賓が来会され盛大且厳かに慰霊祭が行われ、続いて現地報告がなされ誠に意義深いものでありました。

顧みますれば、十余年の間夢にも忘れられぬかつての激戦地ビルマ、印緬国境或は雲深い雲南のはてに、雄図空しく勝利を信じて散華された戦友を、心ならずも放置して帰つた吾々は、政府派遣團の方々の手によつて一、三五一柱の御遺骨と、八七・〇〇〇余の英霊を故国に御迎する事が出来、これ等英霊の合同慰靈祭に参加する事が出来ました事は、全く感激の極みでありました。

本年度は十三年忌を佐賀の本部で実施される予定であります。毎年一回雲龍会によつて定期的に追悼慰霊祭を催して、英霊や御遺族の方を御慰めすることになつて居ります。

帰還者各位におかれましては、今は亡き戦友に思いをよせられまして、絶大な御協力を御願申上ゝます。

雲龍会は元ビルマ派遣龍部隊生存者によつて組織され戦友相互の親睦融和を図ると共に、散華された戦友諸氏の英霊を慰め遺家族其の他戦争犠牲者に対する精神的援護を図ろうとするのであります

会報「雲龍」は皆様のよき友として、伝書鳩として発刊されるものでありますので、諸兄の思い出、御意見等をお出し下さい。

（志折郷　松尾重男）

雲龍会
長崎県支部
東彼分会
元一四八　石塚吉藏
元B0　手島二男
元B0　松尾重男

●編●集●後●記●

×

○いよ〳〵農繁期に入つて、皆様さぞお忙しくお疲れのことゝ思います。

×

○四月から五月の中旬迄多忙を極めましたゝめに、遂々こんなに発行が遅れてしまいました。

×

早く原稿をお寄せ下さつた方にお詫び申上げます。

×

○いよ〳〵農繁期の盛りになります。皆様お身体を御大事にお働らき下さい。

（公民館　永富）

館報はさみ
第6号
波佐見町公民館
電話（波佐見金鑛局）69番
大村市玖島町
印刷所 隆文社印刷所
電話838番

新法による 農業委員 きまる!!

◎選擧による委員（無投票…二二人）

部落	委員名	部落	委員名
中尾	中尾　清次	三股	福田　為一
永尾	冨田　多作	小樽	前田　彌一
野々川	福島　時夫	湯無田	山田　与市
井石	白下　秀一	鬼木	原田伝四郎
金屋	福田　勝	折敷瀬	田中　千一
宿	田崎　秀松	村木	黒板　力枝
稗木場	松尾　久三	田ノ頭	牛島　秀一
川内	久村　林三	岳辺田	谷添初エ門
甲長野	久松　金一	乙長野	本山伝三郎
協和	松本　卯一	志折	山口　義雄
中山	長与　良郎	中山	田中　政視

◎町長が選任した委員…六人

一　号（関係団体）
一瀬　光夫（上波農協）
前田　靖（下波農協）
岩永　種藏（共済組合）

二　号（議会すいせん）
福重武次郎（町長）
上田　広次（議長）
中尾　謙吾（副議長）

計二十八人

なお右の委員は町の条例により

1、農地部会
選擧による委員　十一人
一号の委員　一人
二号の委員　二人
計十四人

2、農業振興部会
選挙による委員　十一人
一号の委員　二人
二号の委員　一人
計十四人

右の通り各互選によつて各部会を構成して農地の関係と農業振興の事業を分担する。

（役場選管係）

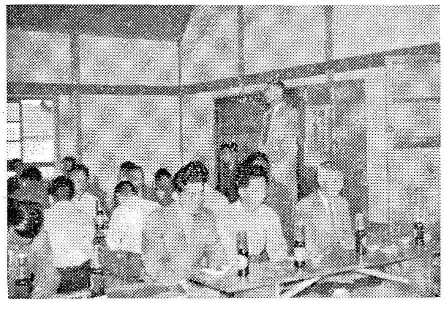
ブラスバンドで迎えた 東京からの お客さま

東京都内の陶器商人による東京都陶磁器商業協同組合員約七十名は、去る六月十三日、有田嬉野を経て、二台のバスに分乗して、波佐見の陶業視察に乗込んだ。巡路内海、中尾西ノ原の各工場を見て工業組合の事務所に着いたところ、東中学校のブラスバンドがズラリと並んで、楽隊を吹奏しての出迎えには流石の東京人もビックリ「おれたちはいつ宮様か大臣になつたのかなー、こんな筈じやなかつたが」とそれでもさすがに嬉しそう。得意満面で二階の大広間に案内された。

こゝでは又町当局や町内製造家や商店代表、約八十名が集つての大歓迎、福重町長、一瀬県議、上田理事長の歓迎のあいさつや、先方代表の謝辞があつて小宴が開かれ、後広川指導所長の司会で意見交換が行われたが波佐見焼独特の白磁を生かすデザインの研究や生産費の低下を図る必要があるなど、有益な意見の交換が行われ和気アイ〳〵裡に三川内を経て佐世保へ向つた。

ブラスバンドの歓迎は誰の思つきか、既に長崎や宮崎あたりでは大観光団の歓迎に駅頭で賑々しくやつている。一寸奇抜なようであるが、先方を嬉しがらせる効果は百パーセント、さすが京阪東京と始終往復して中央の空気を吸うている窯焼きさんや、商人さん達の目と腹は大きい。この大きい目と腹は今後一層工場経営の合理化生産の能率化、従業員の福利厚生のためにそゝいで、波佐見焼の真価をなお高めて貰いたいと切望する次第である。

（公民館　永富）


上田工業組合理事長の「歡迎のあいさつ」

自衛隊の募集 いつでも受付ます

本年度の二等陸、海、空士の募集は左記の通りとなつておりますので、希望者は役場の係まで、至急お申出で下さい。

一、應募資格

昭和三十二年六月一日現在で、満十八才以上二十五才までの日本国籍を有する男子で、中學校卒業程度の學力を有するもの

一、中卒程度

の国語、数学、社会についてかんたんな筆記試験と口頭試問及び身体検査が行われる。

三、初任給

は月六千円で逐時昇給するほか扶養手當及び勤勉期末手當等が支給されます。

四、志願手續

志願票は町役場にありますから、万事御相談下さい。

（町役場　末岡）

警察だより

悲しい出來事!! 哲次チャン 用水路で溺る

今年も赤水が戀しい時節になりました。水で身体を鍛へる事は、最も楽しく望ましい事でありますが、その反面恐ろしい水魔に襲はれる事も決して忘れてはなりません。殊に水泳が全く出来ない幼児の水遊び程危険なものはありません。一寸した保護者の不注意によつて、何よりも尊い人命、かけがえのない子供は、いかに呼んでも答へてくれないあの世へと旅立つのです。そしてこのような出来事は、絶へず起つており何時私共の平和な家庭におそいかゝるかわからないものです。

今年も波佐見町ではこの恐ろしい水魔に襲はれ、悲嘆のどん底に沈んでおられる家庭があります。

岳辺田郷の春口功さん宅では七月一日は田植の為、親戚から加勢に来られたので、功さんの長男哲次チャン（二年七ヶ月）長女照代チャン（一年）二人の子供を子守のA子さんに頼んで朝から近くの田圃に田植に行かれたのです。功さん夫婦は数時間後に、可愛い〳〵哲次チャンが、呼んでも答へて呉れないなきがらになろうとは夢想だにしなかつたでしよう。ところが、哲次チャンは家の中で暫く遊んでいる内に、A子さんに便所に行つて来ると云つて裏戸口から外に出て便所に行き、そのまゝ家の中に入らず、裏口から五米ばかり離れた所を流れている巾一、五米深さ〇、五米の用水路で水遊びをしているうちに午前九時頃過まつて落ち込んで流され、約三百米下流の田圃に仕事をしていたBさんが見付けてひき上げ手当をしましたが、時間が三十分以上もたつていたので遂に蘇生しなかつたのです。

何と悲しい事でしよう。心から御くやみを申し上げたいと思ひます。そして今後私達の身辺から、この様な悲しい事が起らないよう次の事を守りましよう。

一、水に落ちたら救ひを求める事が出来ないので幼児からは決して目をはなさない様にしましよう。託児所に預けるのが一番よいです。

二、子供が落ち込みやすい川や溝には柵等を設けて、危険防止の施設を致しましよう。

三、水泳の場所には竹竿ロープ等を用意し泳げない者でも救助する事が出来るやうに致しましよう。

五、機会を作つて人工呼吸法等救急法の講習を致しましよう、

六、水に溺れた人があつたら直に警察に届けて下さい。

川棚警察署
波佐見警部補派出所

◈新らしい「波佐見音頭」の歌詞募集

◎婦人会のお望みで新らしい「波佐見音頭」を作ることになりました。

◎なるべく、やさしくて歌いよい歌詞を奮つて御應募下さい。

◈形は
七、七、七、五

◈数は何番までゞもよい。

◈町の風景、歴史、人情風俗、名所、名産民芸等を歌い込むこと。

◈〆切り八月三十日まで公民館へ

◈優秀三位まで賞金を差上げ、館報に公表します。

◈審査の方は公民館に御一任下さい。

◎「波佐見音頭」として決めるときは、應募歌詞の文句から適当に引抜いて、組み合せることもありますので、予め御承知下さい。

（公民館）

恐ろしい農藥

農薬は害虫防除に大きな効果がありますがその反面恐しい事故を起し易いのです。

去る七月七日には岳辺田郷で農藥に依る青年男女の悲しい事故が発生致しましたが、これは農薬の保管責任者が正しい保管、移動、取扱ひをしていたら一應は防ぎ得た事故ではなかつたかと思ひます。

一寸した不注意により取り返しのつかない事になりますので次の事柄を必ず守り農薬事故を防ぎましよう。

一、撒布作業には着装や皮膚の露出に注意し毒物の吸收等で中毒を起さないように致しましよう。

二、防除区域の標示は必ず励行しましよう。

三、無指定者の無断使用は危いからしないようにしましよう。

四、農薬の保管に注意し使用後の残品又は空容器等は焼却するか又は埋めて事故防止につとめましよう。

五、農薬を無断使用したり不注意や取扱を誤つて他人に傷害を与えたような場合は過失罪や毒物及劇物取締法の違反として罰せらるるから誤のないように致しましよう。

川棚警察署長

痛いッ!! まむし（ひらくち）

にかまれた時は……すぐ医師に見せると同時に役場警察へ知らせて下さい。**まむし**によく効く薬をすぐ取り寄せます。

役場は
電話　一番
三四番

警察は
電話　四七番
です。

（役場衛生係）

大公望の皆様へ!!

梅雨も明け、いよいよ釣糸をたれる大公望達も多く、郷土の波佐見川も大変賑やかになつて参りました。この波佐見川利用者の方々に、お知らせとお願いを申上げます。

昭和二十六年内水面漁業法が施行され、川漁をやる者は県の許可を受けるようになり、波佐見川の利用者も組合を結成し、現在川棚川漁業協同組合として組合員三五〇名、満六年を迎えて居ります。

組合は川棚川（波佐見川）の管理者として魚類の保護と繁殖のため年々県より助成金を受けて居ります。

亦今年は川棚町から観光事業費として二五、〇〇〇圓の補助金を受け、今年も鯉、鮒、アユ、うなぎ等の稚魚の放漁を行う予定になつて居ります。

また上波佐見農協の御好意によつて井石の大堤を借りて頂き、現在平鮒鯉を放漁し、養漁場として利用致して居ります。

以上の様に組合活動も年々活発になつて居りますので、遊漁者の方々で入場券の無い方は、納付して頂き組合の発展のため御協力下される様、お願いします。

入漁券は町役場、末岡秋夫氏、山下倉藏氏が管理して居ります。

（折敷瀬　田村）

水田の水掛けはこうして

灌漑（水掛け）は稲に対し

1. 保温
2. 養分の補給
3. 分けつの調節
4. 除草
5. 病虫害防除

などの効果がありますが、掛け方によつては効果を現わし得ないばかりでなく、害を生ずることもあります。

保温のためには掛け流しは望ましくなく、ことに冷凉地では禁物です。水温は攝氏三十二度が適温であり、水温上昇の必要な田では溜水、迂回水路を設けるか夜間の低温を防ぐためには夜間深水とします。

稲作期間を通じ、前記保温以外に田植当初（五〜十日間）は深水にして、苗の活着をはかりますが、それ以後は茎の強化、分けつの発育を助長するためなるべく減水（水深一〜一、五寸）に保つが望ましい。たゞ最高分けつ期を過ぎて、分けつ停止期に近づいた頃（止め草直後）水を落して田面を干す場合があり、これを土用干し（虫干し）と云つて、期間は五〜十日間、この間には田面にヒビが入らない程度にしておきます。

この土用干しは無効分けつ（穂にならぬ）をおさえ、土壌の通気をよくして根の伸長を助け、肥料の分解をうながします。しかし土用干しはイモチ病の発生を助けますから本病の発生の多い土地では行わない方がよい。

穂ばらみ期から出穂開花中は、水分の蒸散も盛んで旱害にかゝり易いので、とくに深水（これを花水と云う）とします。

落水は何日頃から始めるかは、水田の乾湿度により、また裏作関係により違いますが、開花後、二〇〜二五日（穂が下垂し始める頃）を標準とすれば、余り間違いはありません。余り早過ぎればみのりを悪くすることもあります。

以上のように水掛けは稲作の生命線であり増収の一方法にもなりますので合理的に行つて下さい。

川高波佐見分校
馬場　教諭

御あいさつ

農協営農指導員
沢田健兒

野山の緑と共に田圃の緑もこゆくなり、遅形の梅雨も過ぎ去つて今や盛夏の頃と相成りました。

今般上農協の営農指導員として御世話に成る事になりましたが、元來浅学非才でございますので、何かと皆様の御世話になることゝ思います。

又町の営農指導員として、皆様方の御期待に充分添うことが出來るかと思いますが、一生懸命努力して、微力ながらも町農業の発展に盡したいと思います。

目に入るものは心に残る、又心に残るものは目に這入ると、良く申されます。常に見聞を広くして、技術の向上に務め、実際営地にあつた栽培の体形となしたいと思いますので今後よろしく御指導御鞭撻の程を御願い致します。

結球白菜の品種の選び方

野崎春蒔一号は冷凉地早出しとして早生であり、純度も高く、耐暑性も可成り強い。但し愛知群の特性として肉質が柔いだけに、耐病性が低いが結球が早く、且、外葉も或る程度食べられるので、被害の進む前に収穫できる。

秋の晩蒔には、低温感應が鈍いので重要な地位を占める。耐病性では、**千歳白菜**、**松島交配七号**、**松島新二号**、**長岡交配**が優れて居る何れも大型で、晩生成り（松島新七号は稍中生）種であるため、多肥、早播、疎植が前提である。**松島新二号**は葉数型の中生の晩で、晩蒔きは不利と一応考えられるが、耐寒性、低温結球性がすぐれて居るので、九月中旬蒔で成功している。

普通栽培では、結球と純度が高く、品質性の点で**長岡交配四号**及二号が適している。

耕土が浅く病気のため早播できないのも、夏の暑気のためで西南暖地の特色である。

春蒔では、**四倍体野崎**は**野崎春蒔一号**よりやゝ色がこゆく、生育旺盛で、良品種であるが、稍大型で少し晩れ岐阜春蒔は更におくれて結球する株で、温床利用のトンネル栽培では生育期間を稍引き延ばした方が好成績である。

上農協　沢田

岳邊田十六夜会肥料別施肥試験成績

岳邊田十六夜研究会長　今里甚太郎
農業改良普及員　福田忠茂

播種　十一月二十二日
播種量　三升
品種　御島裸
畦巾　四尺五寸二条
（播種機使用）

耕種並に成績概要

十一月より十二月にかけての異状乾燥のため発芽おくれと発芽不良となり、初期の肥効が悪く化成肥料の肥効が特におくれた感あり尿素區が不良なのは、前記の理由と、二回の追肥を一回止めた為、比較にならないが一応数字をあげた。

□の区は芽出として基肥に反当二メの硫安を併用した。

追肥はいずれも硫安を二月下旬二メ三月上旬二メを施用した（尿素区は二月下旬一回のみ）

考察

成績は硫安、過石、塩加配合の単肥配合が最も良いが、これは特に速効性であるため生育の初期が好かつたことゝ三要素の配分が適當であつたことだろう。

化成区は初期の肥料分解がおくれて初期成育が悪く、三要素の内燐酸加里の成分が不足したことがその原因の一つと考えられる。

化成肥料を使用する場合、基肥施用と同時に芽出肥としての窒素肥料の併用と加里の併用が右の成績より考えて必要になるのではないだろうか。

× × × ×

肥料別	二〇本平均草丈	二〇本平均穂長	五坪当生麦重	五坪当乾燥麦重	反当収量	備考
1. 硫安区	六五、二糎	五、三糎	一メ二八〇匁	一メ一一〇匁	一石六六五	硫安六メ、過石八メ・塩加三メ
2. 硫安区	六四、八〃	五、四〃	一メ二七〇〃	一メ〇三〇〃	一石五四五	仝右
3. 尿素区	五八、八〃	五、〇〃	九五五〃	八四〇〃	一石二六〇	尿素二メ五〇〇匁、溶燐八メ、塩加三メ
4. 尿素硫安併用区	六七、三〃	四、九〃	一メ〇三五〃	八四〇〃	一石二六〇	尿素一メ六六〇匁、溶燐八メ塩加三メ、硫安二メ
5. 組合化成	六二、一〃	五、三〃	一メ〇二〇〃	九五〇〃	一石四七五	組合化成一五メ、
6. 組合化成	五九、一〃	五、一〃	一メ一四五〃	一メ〇四〇〃	一石五六〇	組合化成一五メ硫安二メ
7. 日本化成	五五、八〃	五、〇〃	一メ〇六五〃	九七〇〃	一石四五五	日本化成一五メ
8. 日本化成	五六、一〃	五、一〃	一メ一四〇〃	九九〇〃	一石四八五	日本化成一五メ、硫安二メ
9. 硫加燐安	六〇、三〃	五、一〃	一メ一四五〃	九九〇〃	一石四八五	硫加燐安八メ五七〇匁
10 硫加燐安	六一、七〃	四、九〃	一メ一七〇〃	一メ〇九〇〃	一石六三五	硫化燐安八メ五七〇匁

一しよに郷土を興そう

波佐見町青年團

波佐見町青年団が生れて、早くも一周年を迎えようとして居ります。その間幾多の難關に当面して参つたわけでありますが、町民各位並びに團員諸君の御協力によつてます〳〵発展の一途をたどり、運営団員数七〇〇名、予算一八三、〇〇〇円県下有数の青年団と成りましたことを厚く御礼申上げます。

しかしながら未だ一、二の部落の参加を得る事が出来ないことは我々青年団としても反省の余地あることを痛感して居る次第です。又現在各支部を綜合して見ましても、まだ約五〇〇名の未加入者のある事をいかんとする次第であります。

私達青年に対する社会の批判はきびしく、又それだけに期待も大きい事を強く感じるのであります。私達はお互の共同の練磨により青年の地位を自覚し、自己の研修、郷土の振興へと努力を致して居る次第であります。

それにひきかえまして、前記の通り取り残された青年諸君の存在を同じ時代に生きる青年として、だまつて看過することは出来ない気がして参ります。一人の研修、一人の努力は微々たる力であり一人の社会は存在しないのです。

同じ郷土に生きる青年達がお互に結び合つて、みんなの力で青年個々の特質を育て、みんなの力で社会を造り上げる事が、いかに大事で、いかに有意義なことであるかを考えていただきたいのです。

今年度は町青年団としても、新しい青年団体としての運営方法、活動方法を多分に取り入れ、社会の皆様方の御期待にそうべく努力して参るつもりです。特に一周年を記念してその前後に青年週間をもうけ、多くの事業を計画している次第です。

どうか未加入の青年の皆様の、青年運動への積極的参加を希望しお互の力でお互を伸ばしお互の力で、お互を明るく楽しく有意義に過せる様、協力をお願いしお待ち致して居ります。

町民の聲

農民よ!!! 目先の慾をすてゝ立上れ

はげしい作業のつかれで、田植なかばに倒れた私は、床の中で現在の農村の立場を振りかへつて見ました。

これまでの農民達は家族の労働力はただと考えて、どんなに農作物の値が下つても、肥料代や税金が払えさへすれば、元を取つたものと思いこんで居ました。そして今までは一小作農として暮していた大部分の農家が農地改革によつて自作農として出発し、経済状態は著しく好くなつて來たのでありますが、今なお農家の経済的な基盤は極めて貧弱であるのであります。

本町農家の経営規模は田畑合せて僅か八段未満の零細さであります。又其の内半数は五段百姓の小農であります。この狭い耕地ではげしい手営農業が家族全部によつて営まれて居るのであります。

私達はいつまでこうしたはげしい労働と、苦しい経済生活を続けねばならないのでせうか。

私達は日頃もつと現実の社会に対するどい批判力を養い、生活を豊かにするために機械力と技術の導入によつて、新しい知識と新しい農法を取り入れてもうすこし多くの休養をとり、それによつて現在の生活からもつとよりよい人間的な生活を営むように心がける事が必要ではないでしようか。

其のために私達農民は、お互い根強い團結力によつてこれまでの古い生活様式を改め、本当に明るい豊かな生活をめざして、目先の慾を捨てゝ立ちあがらねばならないと思います。

今や私達の目の前には幾多の社会問題や経済思想問題が横たわつて居ります。

これらの問題を正しく批判し一日も早く豊かな農村を作り出し、あかるい生活を打出す事が大切でありましよう。（志折郷　松尾）

寄附御禮

折敷瀬
中尾善太郎殿
金貳万円也

右は故ムメ子夫人忌明に当り追善のため公民館施設費として御寄附を戴きました。

茲にお礼を兼ね公告致します。

波佐見町長
波佐見町教育委員会
波佐見町公民館

波佐見人士傳

（四）

◇一書生から

東京、銀座

◎本田耳鼻咽喉科病院長

医学博士

本田雄五郎氏―（その二）

公民館　永冨　貢

一朝にして一家殁落離散の悲運にあつて、漸く早岐高等小学校を卒業した雄五郎氏は、卒業間もなく五月一日未だに乳房戀しい母君と別れて渋川医院の一書生として住み込んだのである。

お坊つちやまから一転して居候的の書生となつた雄五郎氏は一時はずい分苦しかつたに違いない、然し本田家再興の念は四六時中頭を離れず、正雄先生の指導と義兄野村夫妻の慈愛と鞭撻に励まされて、朝は暗いうちに起きて薬局の仕事をし、晩は深更まで勉強した。

高等小学校を終えただけの労力では大学程度の本はむづかしい。然しかも田舎の事とて適当な本がない、然し人間の努力の結果は恐しいものである。

明治二十八年四月には澁川医院入塾後三年医術の前期試験に美事合格した。澁川先生始めみんなから喜ばれ祝福されたが殊に母君は涙を流して喜ばれた。

さこそであつたろう。

勇を鼓して直ちに後期の受験準備にかゝり内科、外科、眼科、産婦人科、薬学等渋川先生から指導受けながらあらゆる苦心をしてあちこちから教科書を借り受けて勉強したが翌々年春の試験には惜しくも落第してしまつたが更に猛然と必死の勉学を再開した。

朝は未明に起き、晩はおそくまで一心に書籍と取組んだ。その甲斐あつて同年秋熊本の試験に於いては美事後期試験合格、意気揚々として波佐見に帰つた。

当時二十一才、高等小學校を出て僅か五年にして医師の免状をかち取つたのである。雄五郎氏の喜びと得意は勿論であるが、この喜びを共にして貰うべき母君は惜しくもこの吉報を待たず、前々年二十八年十二月前期合格の土産として亡夫同俊氏への冥土の土産として亡くなつて居られた。後期合格の喜びが大きかつたゞけ報告すべき母上の亡かつたことは、亦一しお淋いことであつたに違いない。

然し人生には不幸が幸福の原因となる事が多い、前述の黒板伝作氏の場合も同じく、あらゆる成功者が不幸な出来事を機縁として成功への道に出発している。

母君が若しこの当時生きて居られたら、雄五郎氏の上京もずつと遅れていたろうし、或は田舎の一医師として終られたかも知れない母君の霊は更に雄五郎氏に一段の発奮を促した。上京の決意をしたのである。

丁度翌三十一年在京の波佐見出身の医師松尾俊次郎氏が帰郷したことを聞くや矢も楯もたまらず全氏を訪れて上京の決意を訴えた。

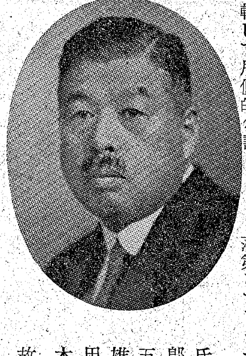
松尾氏も雄五郎青年の意気に感じて上京の後の世話を約したのである。

天にも上る心地で渋川先生始め親類の快諾を得た全氏の喜びはさこそであつたろう。

その後一年間渋川医院に奉謝の勤務をした雄五郎氏はいよ〳〵明治三十二年、三十二才の夏、なつかしい故郷の山河、親しい友達と別れをつけて晴の上京をした。

その時の雄五郎氏の荷物は、餞別に貰つた合計三十円ばかりの金に、あわせ二枚、ひとえ一枚の着物と一枚の医師免状であつた。

（以下次号）

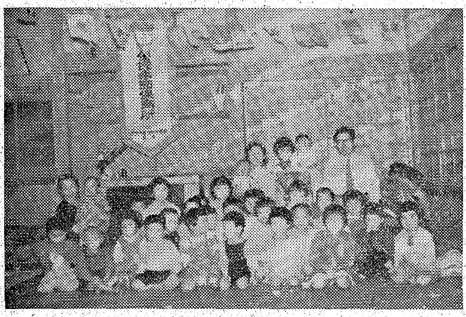


故 本田雄五郎氏

ぜひ開きたい「農繁期託児所」

南地区では従来から農繁期に入ると部落によつては季節託児所を開かれる風習になつていましたが、本年も田植時期を前に、岳辺田、志折、中山の三部落四ケ所に開設されました。

私はこの託児所巡りをして、色々な実状を見聞致しましたが、部落の方の深い理解と協同の力、更には婦人会の方々の御援助であした施設が例え十五日にせよ、二十にせよ、経営維持されますことは、猫の手さえ借りたい程の農家にとつてはどんなにか手助かりとなり福音であるかを思い、今後共益々普及開設されますことをお奨め致したいのであります。



岳辺田託児所の……よい子たち

本年の開設箇所

◉中山下部落託児所
場所　中山下公民館
人数　三五名
期間　六月十五日〜七月四日
保母　丸田ハル子
　　　井田シズ
　　　原本ハツエ

◉中山中部落託児所
場所　中山中公民館
人数　二七名
期間　六月二十三日〜七月四日
保母　岩松節子
　　　吉岡ヤエ

◉岳辺田託児所
場所　岳辺田下公民館
人数　四〇名
期間　六月二十日〜七月四日
保母　小島フサ
　　　森タマ。

◉志折託児所
場所　志折公民館
人数　三四名
期開　六月二十三日〜七月四日
保母　田口サヨ
　　　富永タエ子
　　　前田ミヤマ

（南支所長　田川）

香ばしいおだんご

岳辺田　小島ふさ

『保母になつてくれ』との相談をうけて私に出来る事でしたらと心易く承諾したものゝ始めてのことゝて、いさゝか不安でもあつた。

然し心強く出られたのも御医者様の門口だつたればこそ。

二十日から十五日間の予定。保母二人、十五坪の会堂に疊三枚の寝間、スベリ台二組、ハンモック三、寝台一軒下にブランコ二、改良かまどが据付けられ運動場には金網の柵がはられ、万国旗が飾られて、立派な託児所が出来上つた。後は保母の責任だ。

初日は全員参加三十人、子供達も初めての事とて大はしやぎ、歌うは、叫ぶは、泣くわドン〳〵ガン〳〵ピー〳〵あらゆる物の交響樂が初まる。アアッと耳をおさえたくなる様だ。

おとなしく呼んだつて聞える道理がない、声はかれる。「せんだんも二葉から」幼児の教育が叫ばれつゝある今日、たとえ十余日の短期間であつてもおろそかに出来ない事を痛感して、あゝしてこうしてと、心組んでいた事もこのさわぎと頭の混乱にくづ折れてしまいそうだつた。

五日目頃やつと子供達も落付き私達もなれて来た。這いまわる子が二人やつと這いだした子が二人、一人はだつこしていても目はあちこちと働かせねばならない。時々おしつこをもらす子が五、六人手のあいている時は次から次と呼出してひつぱるのだが、一寸油断していると「しかぶつとらすぞ！」のニユースが飛ぶ、かと思うとけんかのおとゞけ、二人の足は大活躍に入るぞうりをつゝかける暇もない。小便の夕立まではいゝのだが時には香ばしいおだんごの御馳走があちこちに。お湯をかけて床の掃除、お尻の洗濯、パンツの洗濯とかけまわる。側に流れみぞが有るのが有難い。手をしやぶる子、服をかじる子、色々のくせがある。

「鼻が出ています、とつておいで」と週間雑誌の四ツ割をさげておく、またゝく間に一冊分は屑箱に投げこまれる。又さげてやる。でもそれでいゝのだ。自分で鼻をとつて屑箱に入れるただそれだけなのに、子供達は、とても喜んでいかにも大てがらをした様な氣取り方である。「よくとれたねー」とほめてやる。

今までなをざりにされていた子供達は、やさしい言葉やほめ言葉にすつかりなついて、あつちこつちからすがりついて來る。

鼻たらしの子、小便たらしの子も一様に可愛[illegible]なつて来る。

いよ〳〵田植が始まつて四十名になつた。

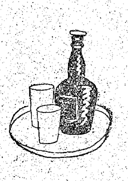
顔洗い、神佛の礼拝、親えの感謝心の養成、うそを言わない様に、手洗いのくせ、挨拶のしかた等、心づくゝしを毎日繰返してやる。

履物を揃える事がなか〳〵だつたが、或日綾子ちやんとゆう子がいつしようけんめいに靴を並べている。いつもじつとしている子なのにと感心して皆の前でほめてやつた。

それから靴を並べる子がふえて来た。綾子ちやんのお手がらである。「小父さん今日は」の御挨拶も終り頃になつてよう〳〵一人で言えるようになつた。

朝は一日、夕に一日の無難を祈り、一日の無事なりし事を感謝して、庭先の清正公の前に手を合せる私達二人、川流れの計報をきゝ一そう心の緊張を話合つた二人、殊に六十になんとした体で一日中立働かれた森の小母さん十年も年若い自分でさえこんなに疲れるのに大変だろうなあとつく〴〵思いやられ毎日を感謝していた。

短期間のことゝて思うようなしつけも出来なかつたが、せめて子供達の習いおぼえた顔洗い、食前の手洗い、神佛えの礼拝など、どうぞ今後も子供達をほめ上げて続けさせて下さるよう親さん達へお願いする次第です。



婦人会だより

生活部会

とき　七月十二日
　　　午後一時半〜
場所　南小学校家庭
　　　科室

農繁期明け久しぶりに集りまして、次の様なことを話し合いました。

議　題

一、保存食の普及状況について

1.農繁期に役に立つたか。

○農繁期と云うより、日常の食卓に常備しておく保存食として役に立つた。

○お辨當のおかずとして喜ばれた。

○いわし味噌がなまぐさいと云う向きもあつたが、それは作り方がまずいので、いわしのみをよくいりつけてから、味噌とねり合せると、とても永く保存も出来て栄養的である。

○フライビンズの甘味噌等好評だつた。

2.もつとうまく普及し利用する方法はないか。

○農繁期託児所の給食にやつたら大変重宝した。

○農繁期の直前に、四五人のグループで夜にでも集つて共同で保存食を作り、それ〴〵持つて帰る様にしたら、どこの家庭にも利用され、農繁期の栄養の補いとして役に立つだろうと思う。

二、家計簿の研究について

「主婦の権力はシャモジ一つだ」と云われる時代はもう過ぎました。私達はもつと生活を考え、家計を知つた上で、色々と生活の設計を建てることの出来る主婦でなければならない。ただ働くだけの主婦では生活に楽しみがない。色々と生活の設計が出来る様、家計を、はつきり見つめたい。もし家計不足の時はもつと生産的に働く工夫も生れましよう。そのために先づ家計簿をつけて見ようと云うことになりました。

三、台所の見学について

波佐見町内で、私達の生活にすぐ取り入れられる様に工夫された台所を拝見したい。適当な台所を物色して、八月下旬に拝見に行く事。

四、栄養表の普及について

一部　二拾円

支部の生活部長さんに御申込み下さい。

五、栄養料理講習会

七月下旬に、南中学校家庭科室で、夏向きの蔬菜料理と麵類料理の講習会を開く。

町婦人会生活部長　杢尾スエ

婦人会だより

厚生部会

とき　七月十二日　午后二時半
ところ　南小学校
出席者　会長、厚生部本部役員　各部落厚生部長

議題
一、本年度の行事について
二、夏季衛生について
三、応急処置（人工呼吸法を主に）

石田さんから本度の行事について報告、続いて協議、

次に役場の衛生係山下さんから夏季衛生並に清掃について、蚊の発生源即ち水溜りをなくすること、清潔検査には従来通り婦人会の人の立会を要望されました次に予防接種について、一般の自覚と協力を促され、尚近く行われる集団検診は一人も洩なく受るよう要望されました。

次に出血時応急処並に人工呼吸法について之は川棚本署のお方の指導を受けました。

次は人工呼吸法で、之はまず講師のお方の実演のあと私達も組んで、実地にその方法を練習いたしましたがワン、ツー、スリーのリズムにのつて行うその動作は、一見簡単なようでも、不幸にして実際に直面した場合は、その実地に当つて、慎重、正確、根気を要することを思います時、そこには精神的なものがなければならないことを痛感いたしました。

尚このような場合、火を炊いて保温につとめるよりも毛布による保温が効果的で、又呑んでいる水を吐かせる必要はなく、直ちに人工呼吸を実施した方が蘇生が早いことを注意されました。

この人工呼吸法は、お互に練習を重ねてなるべく多くの人達に伝達し、万一の場合に備えたいものと思います。又この伝達のことは警察の方からの強い要望でもありました。

婦人会厚生部長　寺田つる

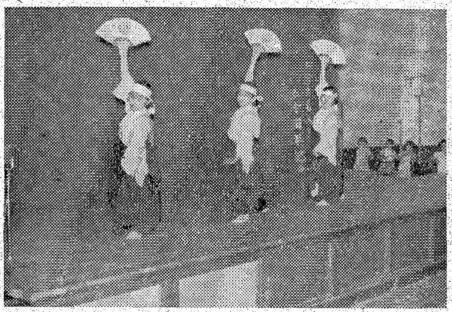
援護部

三十二年度始の援護部行事としてゾーキン竹ボーキ集めを御願いしましたところ、御多忙中にもかゝわりませず皆様の御協力によりまして沢山集りました左の通りそれ〴〵差し上げましたので紙上をおかりして御報告方々御礼申上げます。

尚運搬のことがありましたので両地区別に集めて配分いたしましたので不均等なところがございました事をおわびいたします。

南中學校	一七〇枚
ホーキ	一〇〇本
南小学校	二〇〇枚
ホーキ	一五本
南支所	九枚
ホーキ	五本
皿山保育園	四〇枚
東中学校	一五〇枚
ホーキ	二八本
東小学校	二〇〇枚
ホーキ	四〇本
永尾分校	七〇枚
中尾保育園	一〇三枚
内海〃	一〇〇枚
宿〃	一〇三枚
村木分校	村木支部各班で受持つて少しづゝ差上げている。
町公民館	二〇〇枚
ホーキ	三本
町役場	三〇枚

（婦人会援護部）


東中学校ダンスクラブの「荒城の賦」

〃幕〃〃開き〃〃演藝会〃

前号所報の通り、旧上波佐見町婦人会は統合による閉会記念として、小学校、公民館に舞台の引幕を、中学校にサキソフオーン（楽隊の楽器）を寄贈されたが、この御礼のため七月十九日東小学校の育友会學期末の学級分会総会が開かれたのを機会に、中央公民館で婦人会員及び功労者を招待して幕開きの小演芸会が催された。

当日のプログラムと出演者は左の通りである。

○感謝あいさつ　代表　尾崎東小学校長
○お謡と仕舞　（羽衣ほか）　役場　福重町長ほか
○尺八とピアノの合奏　（荒城の月、追分）　公民館主事　永富、谷村
○齊唱　（仲よし小道、ほか）　東小學校一年生
○仝　（かもめの水兵さん、ほか）　〃　二年生
○遊戯　（おもちゃのダンス）　〃　三年生
○合唱　（子供会の歌、ほか）　〃　四年生
○仝　（夏は来ぬ）
合奏（マーチ）　〃　五年生
○仝　（明るい笑顔）
遊戯　〃　六年生
○合奏　（元気で歩こう、ほか）　〃　鼓笛バンド
○ダンス　（山の若人、ほか）　東中學校ダンスクラブ
○サキソフオーン独奏　（黒田節）　〃　生徒
○合奏　（楽しき思い出、ほか）　〃　ブラスバンド

小学校だより

◇　波佐見町立東小学校

子供たちは四十日間の長い夏休みを、泳ぎたい、海水浴に行きたい、よそへ連れて行つてもらいたいなどと楽しみにして待つています。

この期間はあまり暑い時季なので、からだの弱い子もいるのに一律の学習を続けるのは非能率であり不適当でもあるから休みにしてその間自由にのびのびと自然や社会のできごとにふれてゆたかな生活を経験し、自分の責任で自分の生活をきまりづけて行くようにさせる機会としてあるわけです。

×　×　×

そのために、学校は一律の宿題はなるべく少なくし（夏休み帳程度）子供自身の好みに合い、しかも家庭の事情に応じた学習、たとへば植物や動物を育てることや、それを長い間続けて観察し記録することや、かなりの時間をかけて家具・模型・着物などをつくることや、図画・習字・音楽などの学習をすすめるようにしています。

×　×　×

掃除・炊事・せんたく・農業など家庭の仕事を手伝つて、うちの人たちがふだんどんなことをしているかを体験し、家族の苦しみや楽しみを理解し合うとともに、そういう技能をおけいこすることも大切です。男の子にも女の子にもできる仕事はさせて下さい。しかし子供は発育中の未成熟な者ですから心身に差支えのあるような無理な仕事をさせたりあまり長時間働かせてはいけません。

×　×　×

日常の生活は、子供もそれ相応に考えて、勉強・仕事・遊び・食事・眠ることなどを一日の時間割に表わしていますから、うちの人たちもそれを見てやつて、子供と相談の上悪いところは訂正させ、時間割がきまつたらそれを尊重して勉強の時間に仕事をおしつけたりしないようにしていただきたいと思います

×　×　×

おぼんを中心に親類同志の行き来があるのも子供の生活をゆたかにするよい機会です。なるべく連れて行つたり、いとこと遊ばせたり、お墓参りをさせたりしてやつて下さい。ふだん知らないところを見たり聞いたりすることや、あいさつや行儀やものの言い方を考えたり、先祖の御恩を思い出したりするのはりつぱな勉強なのですから。

×　×　×

トラホームや虫歯、病身虚弱といつたからだの子供は、この休み中にしつかり治療しておいて下さい。

以上、大まかに夏休み中の子供指導の要点をのべてみました。

水泳のことは毎年お考えいただいていますので割愛しました。無事で健康で、豊富な生活経験を積んで生き生きした眼を輝せながら登校してくる子供たちの姿を期待しています。

中学校だより

◇　波佐見町立東中学校

夏休みが来たら……胸をはずませる四十日間を家庭ではどんな心づかいが必要でしょうか、

①学習について

学校でどうしても出来ないような学習を、この期間にさせたいと云う事です。学校では一定の計画のもとに能率的に学習をすすめてゆくため、形式や知識は覚えるけれども、それを実際にどう役立てるかとなると充分でない。骨組だけをのみこませ、次に進むという事になり勝である。その結果知つていても使えないということも生れる。こう考えてくると、夏休みを利用して学校で学んだ知識を、実際の仕事の中に生かし直し、地についた學力にすることも、夏休暇は絶好の機会と考えます。

②健康面

学校生活が肉体的負担になつているし、精神的な疲労も大きいし又大勢と一緒であるから、自分の体力を考えないで過労におちいることもある。夏休みには休養させ、栄養にもできるだけ気をつけ、或る程度の鍛錬をも加えて、体力を養つておくことも必要でありましよう。又、平常は通学のため時間的余裕がないため、充分な治療が出來ないでおる人には、この機会に徹底した治療に専念されるようお願い致したい。

③躾について

学校では大ぜいの子供であるから、一人一人によく気を配つて指導しても充分行き届かないし、又學校では大勢の中で、他人に迷惑をかける行動をしないとか、仕事に協力する態度を養うと云うような、集団の中での道徳指導が中心になるので礼儀作法などの個人の望ましい習慣を身につける躾は家庭が中心であらう。その意味で夏休みを親の立場としても充分活用してほしいと思います。

④情操方面を育てること

學校では五十分単位内での学習で、例へば作品を読み鑑賞することも、作品の中の一部分を、断片的でコマ切れ學習に、終り勝ちでありますので、自由な時間を持つ休み中は、後で試験があるという圧迫感から解放されてまとまつた文学的作品を幾日もかけて読み通すとか。画用紙に時間をかけて絵をかく等、趣味、興味に應じて個性を伸ばす機会を作ることも大切だと思います。

⑤交友について

友達としつくりした交際をさせていただきたい。學校の多人数の交際は制限された場所で限られた時間であるため、交友関係の綿密さにも限度がある。夏休みは時間の上でも余裕があるので、しつくりした交際をさせるよい機会と思います。良い環境での交際は、本当の人間が育てられると思います。良い人間を育てるには、密接な友達をもつことにもあると思いますので、友達と遊ばせると悪くなると、初めから決めてかからず、進んで良い友達との交際をさせて下さい。

×　×　×

学校の立場から全般的な希望を述べさせて頂きましたが、夏休みは、学校で得られないものを、子供につかませる絶好の機会でありますので「規律ある生活」を目標に、各家庭の実情に応じて、四十日間を充分活用され、休暇中子供が健康な心身で楽しい日々を送るよう御協力頂きたい。

限られた紙面で「どうしたらよいか」の具体例まで立入ることが出來ませんでしたが、生徒を通じ別紙を配つておりますので御了解下さい。

仲よし子供会

ぼくが、三年生の時から、子供会が始まつた。第一回の土曜日と第三回の土曜日に集まつて子供会を始めます。中学二年生の寺田君の家がぼくたちの会場です。仲間はみんなで十八人位で、夜七時半から始まります。

司会は小林君です。みんなでいろいろな事を決めて、それがどのていどかを話し合います。それが終つてから歌を歌つたり本を読んだりします。おかしを食べる事もあります。

会ひを十円づつ一カ月に一回持つていきます。日曜に山へ、たき物を取りに行つてそれを、安く売りゆうびんきよくへちよ金をしています。今二千円ぐらいあります。

ぼくたちの子供会で遠足にも行きました。一年生がいるので野々川まで行きました。みんな仲よくするように仲よし子ども会とつけました。

湯無田郷東小四の一
富永勝久

次号の原稿は九月五日までに願います。
町民の聲歡迎

編集後記

農繁期があけたら急にいろ〳〵の行事が続いて、多忙を極めました。

しかし沢山の原稿を戴きましたので、編集も一気に片附きましたことを御寄稿の皆さまにお礼申上げます。

水害のために印刷所の電力が来ないで発行が遅れたことゝあまり原稿が多くて次号に割愛したり思切つて文章をけずつたり、失礼の点は悪しからずお許し下さい。

（公民館　永富）

館報はさみ
第7号
波佐見町公民館
電話（波佐見金鑛局）69番
大村市玖島町
印刷所 隆文社印刷所
電話838番

だれが私達を幸福にするか？

政治は、私たちをより一層幸福にするために行われるのでありますが、何が私たちの幸福になるかは、私達自身が、最もよく知つているはずです。

政治が、私達の幸福を、ほんとうに考えているかどうかを、たえず注意していなければなりません。公明選擧運動は、私達国民のみんなが、このような気持になり選擧のときは、立派な人に投票して国の政治が正しい方向に向うことを期待する運動です。

政治はどこにあるか

むかしは遠い
みやこにあつた
宮殿の奥にあつた
いかめしい権力に
守られてあつた
しかし今は私たちの
身のまわりにある
毎日の生活が政治で
ある
生活をたのしく
明るく
生き甲斐のあるように
するのが政治である

（役場　選擧係）

政治はだれのものか

むかしは
王様のものであつた
殿様のものであつた
私達に縁遠いおかみの
ものであつた
しかし今は
私たちみんなのもので
ある
総理大臣のものでも
知事さん、町長さんの
ものでもない
政治は私のたちの
ものである

国鉄バス開通

待望の国鉄バス、嬉野、有田線は八月十日からいよ〱開通することゝなり前日八月九日町公民館で鉄道関係嬉野、有田、波佐見三ケ町の有志が集つて盛大な開通祝賀会が催された。

なお沿線の各停留所関係婦人連は左の余興を出演、来客の飛入りもあつて賑わつた

有田藤若会
寿三番叟　河太郎
あやめ踊　有田音頭
舞相婦人会
東京盆踊　ザンザ節
波佐見藤若会
会津盤梯山、乙女つばき
西原婦人会
そうらん節　アジャパ天国
内海婦人会
九十九島音頭

国鉄バス開通祝賀会の余興
婦人会の踊り

波佐見町建設審議会生れる

新市町村建設促進法の規定によつて、波佐見町建設審議会を作ることになり、左の十五人が委員に任命された。

この審議会は町長の諮問に応じて、新町建設計画の調整、その他その実施に関し必要な調査と、審議を行うもので、合併によつて新しく生れた町をしつかり育てようとするための町長の諮問機関である。

（議会議員）
上田広次、中尾謙吾
福田伊作
（教育委員）
林平三郎、浦野　安
（農業委員）
前田　靖、田崎秀松
（公共団体の役職員）
一瀬光夫、三岳春男
岩永種藏
（學識經驗者）
今井俊夫、島尾久米司
（その他必要と認むるもの）
永富　貢、和島源治
中沢　一

よく出來た!!　夏の大掃除

夏の大掃除は雨ばかりでしたが、皆さんの御努力により非常によく出来ていました。厚くお礼申上げます。

特に皆さんの衛生についての認識が深く、お互にきれいにしたいと云う意欲の旺んなのには感心しました。今後もより一層御努力、御協力をお願い致します。参考までに見たまゝ感じたまゝを……

◎よいところ

①前回とすると皆さんの衛生に対する認識が深く、意欲が旺んである。

②前回注意を受けたところをよく改善している。

③みんな熱心である（勤めている方がわざわざ休んで掃除しておられるのにはすまない気が致しました。）

④年々向上している

◎もう少し努力したいところ

①隅々の掃除がまだ不充分です。

②あまり時間と金のかゝらないところが改善されていない

③施設に対して創意工夫が足りない

④畜舎、便所、肥溜等の管理が少し悪い。

特に畜舎については農家は充分研究の余地があると思います。

◎みんな井戸掃除をやって下さい!!

本町では今年（四月から八月まで）十一名の赤痢（保菌者を含む）患者が出ました。川棚では約二十名の集團赤痢が出ましたが、井戸の管理が悪かつたのが大きな原因のようです。柿の赤くなる頃までは赤痢の危険があります、寒くならないうちに、今すぐ井戸の掃除（カルキを小マッチ二杯位入れてから汲み干して下さい）をやつて下さい。

（役場　衛生係）

滞納の税金をなくしよう!!

町民の皆さんには合併後、新町のために、何かと御協力をいたゞき有難うございます。

納税につきましては滞納をなくするために皆さん方の御理解と御協力を願いまして、次第に成績が向上して参りましたことは町財政確立のために喜ばしいことです。

皆さん御承知のとおり、多額な諸経費を要する町財政については滞納が多くなれば非常に困難になつて参ります、だからといつて支出の面は滞納があるから払わないという訳には参りません。納税の成績が悪くては、あらゆる事業計画も実施出来ず、従つて町民の方の福祉増進はあり得ません。納税成績の如何が町政発展への尺度となります。

下記の納税成績表（調定額を省畧）は九月一日現在で作成したものです。毎年連続で納期日に完納となつている川内、甲長野、協和各郷及び本年度分よりとみに成績が向上した皿山郷の皆さん方の納税に対する深い御理解と、部落指導者達の御協力に対して、深甚なる感謝の意を表しますと共に、今後尚一層の御支援をお願いいたします。

いよ〱昭和三十二年度前半期分の〆切期日も迫つて参りました何かの御事情で滞納されている方は、お骨折りとは存じますが早急に完納して下さい。

私達の町を明るくよりよい町とするためにお互いが相励まし合い相戒め合つて「滞納解消完納実現」に、なにとぞ御協力下さい。

（役場　税務課）

造林申請について

昭和三十二年度の造林申請を受付けますので、該当者は次の要領により申請されますようお知らせ致します。

一、**申請期間**
十月一日から十月十五日まで

一、**対象範囲**
すぎ、ひ、まつ、一団地面積五畝歩以上
一、昭和三十二年十月から昭和三十三年二月末日まで植林予定のもの
一、昭和三十一年度申請洩れの方
一、昭和三十一年度検査に間に合わなかつたもの。（様式の改正により新に申請して下さい）
一、植林ヶ所の周圍図と印鑑持参のこと
一、申請先、東地区は本廳経済課へ、南地区は支所へ

（役場　経済課）

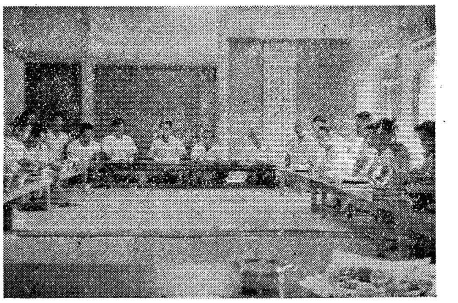
町税成績表　さあ1番はどこでしょう？

昭和32年9月1日現在

税目 / 種別 郷名	固定資産税 収入額	固定資産税 未収額	固定資産税 収入歩合	町県民税 収入額	町県民税 未収額	町県民税 収入歩合	自転車荷車税 収入額	自転車荷車税 未収額	自転車荷車税 収入歩合	総計 収入額	総計 未収額	総計 収入歩合	順位	郷
中尾	335.450	108.210	75.6	276.300	192.890	58.8	35.100	400	98.8	646.850	301.500	68.2	15	中
三股	36.090	72.800	33.1	19.260	80.560	19.2	8.300	5.000	62.4	63.650	158.360	28.6	21	三
永尾	202.990	178.030	53.2	96.560	99.440	49.2	32.600	5.700	85.1	332.150	283.170	53.9	20	永
小樽	151.220	22.900	86.8	49.930	12.550	79.9	10.600	200	99.0	221.750	35.650	86.1	9	小
野々川	279.090	9.880	96.5	68.400	3.060	95.7	20.400	600	97.1	367.890	13.540	96.4	4	野
湯無田	470.380	255.450	64.8	174.870	295.250	37.1	76.100	16.600	82.0	721.350	567.300	55.9	19	湯
井石	358.350	214.310	62.5	169.500	151.730	52.7	61.800	8.700	87.6	589.660	374.740	61.1	17	井
鬼木	275.840	3.980	98.5	82.450	400	99.5	16.600	0	100.0	374.890	4.380	98.8	3	鬼
金屋	404.060	44.620	90.0	120.540	50.300	70.5	51.300	3.000	94.4	575.900	97.920	85.4	10	金
折敷瀬	620.770	101.190	85.9	178.200	74.520	70.5	64.400	3.400	94.9	863.370	179.110	82.8	13	折
宿	493.280	248.860	66.4	154.440	101.120	60.4	54.100	13.200	80.3	701.820	363.180	65.8	16	宿
村木	270.350	182.190	59.7	57.720	75.830	43.2	38.000	7.400	83.7	366.070	265.420	57.9	18	村
皿山	235.840	7.000	97.1	73.730	22.570	76.5	22.800	400	98.2	332.370	29.970	91.7	6	皿
稗木場	314.520	0	100.0	89.380	0	100.0	39.600	0	100.0	443.500	0	100.0	2	稗
田ノ頭	306.390	54.330	84.9	82.910	20.230	80.3	26.800	3.800	87.5	416.100	78.360	84.1	12	田
川内	428.990	0	100.0	115.550	0	100.0	41.800	0	100.0	586.340	0	100.0	1	川
岳辺田	397.100	10.130	97.5	92.210	17.830	83.7	37.800	1.400	96.4	527.110	29.360	94.7	5	岳
甲長野	209.000	0	100.0	76.540	0	100.0	20.700	0	100.0	306.240	0	100.0	1	甲
乙長野	217.000	45.790	82.5	81.340	24.300	76.9	25.800	2.400	91.4	324.140	72.490	81.7	14	乙
協和	140.170	0	100.0	50.090	0	100.0	16.000	0	100.0	206.260	0	100.0	1	協
志折	228.530	37.180	85.0	70.720	10.360	87.2	23.500	1.800	92.8	322.750	49.340	86.7	8	志
中山	426.220	81.450	83.9	118.920	19.820	85.7	39.600	3.200	92.5	584.740	104.470	84.8	11	中
地区外	399.730	47.970	89.2	—	—	—	—	—	—	399.730	47.970	89.2	7	外
計	7201.370	1.726.270	80.6	2.299.560	1.252.760	64.7	773.700	77.200	90.9	10.274.630	3.056.230	77.1		

上波農協青年部の研究会

八月二十四日午後二時から上波佐見農協会議室で本部役員及び支部長が集つて研究会を開いた。一瀬組合長以下農協幹部、田崎課長、高月係長、永富公民館主事等も出席して、今後の運営その他について協議、非常に有益であつた。


上波佐見農協青年部と農協、役場、公民館の懇談会

波佐見町体育協会役員

名誉会長　今里久香
会長　野沢栄治
副会長　永富貢
〃　松尾省一
理事長　尾崎利一
常任理事　永富副会
〃　長　兼務
理事
陸競部長　小柳敷男
野球〃　沢田京一
庭球（軟）〃　中尾豊
〃（硬）〃　今里久香
排球〃　田添有
卓球〃　田中良吉
相撲〃　太田寿
剣道〃　山口勝次
柔道〃　疋田武利
（學校関係）
東中学校長　野澤栄治
東小学校長　尾崎利一
東中体育主任　太田朼
〃小〃　桑原政幸
南中〃　山口松博
〃小〃　福田義美
（青年團）
團長　野澤義典
体育部長　谷村栄作
郡体育部長　高坂辰夫
（教育委員会）
福田正
（公民館）　永冨貢
（一般選出）
陸競一般　松尾省一
〃　山口博資
〃　太田勝次
〃　松尾大和
野球　千代田義美
剣道　飯笹辰夫
〃　本間寿一
柔道　山口政人
顧問
町長　福重武次郎
議会議長　上田広次
教育長　浦野安
南中學校長　中里進
南小学校長　石丸仁策
（事務所～公民館）

波佐見音頭

入賞きまる!!

七月号の館報で募集した波佐見音頭は、予定の通り八月末で〆切つて、九月五日公民館で左の通り選出された各委員によつて、審議会を開いたが、得点投票の結果、左記三氏の分を入賞として決定した。

審査委員
東小学校　児玉教頭
〃中〃　山下教諭
南小〃　田島教頭
〃中〃　河内教諭
町役場　山川係長
婦人会　杢尾副会長
青年団　小林文化部長
公民館　永富主事
〃　谷村〃

なお審査委員会で協議の結果、波佐見音頭として決定する歌詞の作成は本町出身の**作家　福田清人氏**に応募歌詞を参考として送つて、依頼することになりましたので、楽しみにお待ち下さい（公民館）

入賞者
一位　金屋郷　中山佐嘉衛
二位　田頭郷　赤松武
三位　鬼木郷　松崎米市

波佐見音頭の歌詞を作るに当って

中山佐嘉衛

拙作のものが一位に当選したとのことで、読者の方々に誤解の無いよう、一筆しておきます。

1. 募集要項どおり、郷土の歴史、人情、産業、行事などを採り入れましたが、それらを別々にせず、一体となつて調和するようにしました。また歌詞全体を通じ、明るく、和やかに、発展的気分のみなぎるように努めました。

2. 第一節の「波佐見一石万」というのは、旧藩時代に言われたことで、今の産額ではありません。―（これは審査会で万石と訂正）―浮立は町内各部落のものを総称しております。ゴゴジョの居ないものもあります。たすきを「紅」としたのは、華やかな氣分を出すためで、実際とは違うかも知れません。

3. 第二節の「皿山」は、陶器山一般の称呼であつて、今の皿山部落を云つたのではありません。大村藩は皿山全体の陶業を支配させたのでした。「新茶」を採り入れたのは、鬼木その他の「波佐見茶」を含ませたわけです。「夫婦」「二人」というのは、横の関係の親愛を示したので、後節の親子の縦の関係の親愛に対照させたわけです。

4. 第三節の人形芝居と波佐見節は郷土民芸の代表として採つたものです。浄瑠璃は義理と人情に厚いことゝからませております。

5. 第四節の「千年むかし」は、奈良時代に金屋神社と東前寺の出来たことを指します。その後信仰の深い土地柄になつていることを「ありがたさ」であらわしました。「みんな百まで……」俗謡からとつておりますが「お前や百までわしや九十九まで」では、女性から怒られるので、改正しました。

× × ×

波佐見音頭

才一位

金尾郷　中山佐嘉衛

一、波佐見万石
　名の出た所
秋は黄金の
　ソレ　波が立つ
心うき立つ
　浮立の囃子
粋なゴゴジョの
　紅だすき〱

二、藩の皿山
　末広がりに
今ぢや天下の
　ソレ　波佐見焼
夫婦茶碗に
　新茶の香り
二人そろうて
　若返り〱

三、可愛い人形の
　浄瑠璃芝居
義理と情の
　ソレ　よい所
習うた波佐見節
　シヤカ〱〱と
親が踊れば
　子も踊る〱

四、ひらけ始めは
　千年むかし
神や佛の
　ソレ　ありがたさ
町の栄えは
　若松さまよ
みんな百まで
　九十九まで〱

いま一歩の御努力を!!

本町の国民健康保険事業も、開始以来本明年をもつて十五周年を迎えます。

その間事業運営の上に幾多困難もありましたが、町民皆様に直結した事業でありますだけに、その主旨をよく理解され、今日では県下の優良町村として、進んでおります。

これは、誠に感謝にたえないところであります。政府でも、ようやく国民健康保険の必要性を痛感し、全国完全実施の線を打出し、昭和三十五年まで、ほとんど全國の町村が実施の運びとなることでしよう、私達も一日も早くこれらめぐまれない人々に医療補償の恩恵を受けられるよう切望にたえません。

保険の健全な運営がうまくゆくか否かは、保険料一部負担金の収納状況が良いか悪いかにかゝつています。

昨年度末の収納状況は、保険料において（旧下一〇〇%）（旧上九八%）一部負担金（旧下）九九、四%（旧上九八、四%の上々の成績を示しております。

本年度八月末の各部落別成績は下表の通りでありますが、出来れば毎月の収納成績が今少し向上するよう、被保険者の皆様に今一歩の御努力を、お願い申上げたいのであります。

病氣やケガは毎月變らぬ二、三〇〇件から二、五〇〇件で一五〇万円から一六〇万円の医療費を要しており従つて各病院 医者に対する支払も月々に致しますので、皆さんの毎**月の納入**がなければこうした支払いにも事欠くことになりますので今後毎月納入について皆様の、この上乍らの御協力をお願い致します。

尚最近医療費が高いように思われるが、間違いではないかと云うことを、度々聞かれますが、これは毎月医師からの請求書が役場に参りまして、それを保管しておりますので、御遠慮なく御尋ね下さるようお願い申上げます。

（役場　厚生課）

國保納入成績表　あなたの部落は何番でしょう？

昭和32,8,31現在

種別／郷名	保険料（4,5,6,7 8月分）				一部負担金（4,5,6,7月分）				総計				順位	郷
	調定額	納入額	未納額	収納率	調定額	収納額	未納額	収納率	調定額	収納額	未納額	収納率		
中尾	171.535	136.625	34.910	79.6%	250.880	111.605	139.275	44.4%	422.415	248.230	174.185	58.8%	19	中
三股	46.670	22.285	24.385	47.7	24.435	8.690	15.745	35.5	71.105	30.975	40.130	43.6	20	三
永尾	177.420	123.160	54.260	69.4	135.455	76.480	58.975	56.4	312.875	199.640	113.235	63.8	16	永
小樽	76.615	73.630	2.985	96.1	60.690	56.835	3.855	93.0	137.305	130.465	6.840	95.0	3	小
野々川	123.330	119.740	3.590	97.0	105.540	95.635	9.905	90.6	228.870	215.375	13.495	94.1	5	野
湯無田	300.350	206.760	93.590	68.8	238.215	122.970	115.245	51.6	538.565	329.730	208.835	61.2	18	湯
井石	229.120	177.835	51.285	77.6	206.590	136.620	69.970	66.1	435.710	314.455	121.255	72.2	15	井
鬼木	129.155	128.585	570	99.5	105.820	94.565	11.255	89.3	234.975	223.150	11 825	94.9	4	鬼
金屋	193.925	182.105	11.820	93.9	152.800	127.070	25.730	83.1	346.725	309.175	37.550	89.2	7	金
折敷瀬	255.905	225.700	31.205	87.8	270.875	196.065	74.810	72.3	527.780	421.765	106.015	79.9	13	折
宿	221.960	183.595	38.365	82.7	186.695	132.095	54.600	71.3	408.655	315.690	92.965	77.3	14	宿
村木	147.370	98.515	48.855	66.8	86.340	47.310	39.030	54.7	233.710	145.825	87.885	62.0	17	村
皿山	105.870	97.790	8.080	92.4	141.655	112.700	28.955	79.6	247.525	210.490	37.035	85.0	11	皿
稗木場	115.805	115.465	340	99.7	108.865	107.975	910	99.2	224.670	223.440	1.250	99.5	2	稗
田ノ頭	104.555	94.480	10.075	90.4	81.525	69.400	12.125	85.1	186.080	163.880	22.200	88.1	9	田
川内	135.110	135.110	0	100	89.740	89.740	0	100	224.850	224.850	0	100	1	川
岳辺田	118.690	116.085	2.605	97.8	73.905	64.675	9.230	87.5	192.595	180.760	11.835	93.9	6	岳
甲長野	75.295	75.295	0	100	50.660	50.660	0	100	125.955	125.955	0	100	1	甲
乙長野	98.030	82.840	15.190	84.5	128.780	103.270	25.510	80.2	226.810	186.110	40.700	82.1	12	乙
協和	51.820	51.820	0	100	40.505	40.505	0	100	92.325	92.325	0	100	1	協
志折	92.620	82.980	9.640	89.6	57.925	45.070	12.855	77.8	150.545	128.050	22.495	85.1	10	志
中山	168.930	151.752	17.205	89·8	133.070	117.585	15.485	88.4	302.000	269.310	32.690	89.1	8	中
計	3.141.080	2.682.125	458·955	85.4	2.730.985	2.007.520	723.465	73.5	5.872.065	4.689.645	1.182.420	79.9		

波佐見人士傳

（五）

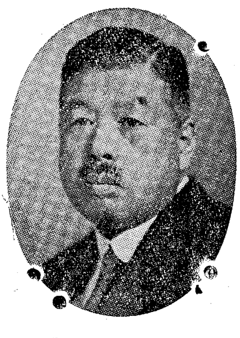
◇一書生から東京、銀座

◎本田耳鼻咽喉科病院長

医学博士

本田雄五郎氏―（その三）

公民館　永冨　貢



故本田雄五郎氏

日本橋病院時代

医師免状をとつた雄五郎青年は前号に書いたように、明治三十二年の夏二十二才で、あわせ二枚、ひとえ一枚の着物と一枚の医師免状、餞別に貰つた三十円ばかりの金を持つて青雲の意気揚々と有田駅を出発して上京したのである。

ひとまず松尾医院に仮寓し、九月日本橋岡本病院に入つた。初任月給三円、三ヶ月の後に五圓に上つたが勉強のために書籍を買うのが精一杯で、郷里から持つて來たあわせ二枚で東京の冬を過した。

明治三十五年東京帝大医学部に初めて耳鼻科が開設され、その専科に入学して日本橋病院に勤務しながら、午前中だけ講義と臨床の実技を習い一年で修了した。続いて北里伝染病研究所に入つて細菌学を勉強した。

その間、温厚篤学の同氏に患家の信用は漸次に高まり、特に当時の銅山王古河男爵や、武総銀行の支配人永見勇吉氏等の恩顧を受けることになつた。

そして永見氏の世話で、明治三十九年六月西端初世夫人と結婚したのである。当時三十才で月給二十五円、家賃十円の借家に新家庭を営んだ。

独逸留学

氏は結婚前から独逸留学を熱望していたが思いの外早くその時機は來た。明治四十年二月、大村純英伯が独逸に洋行されるのと時を同じうして福田雅太郎中佐（後大将）がオーストリア大使館付武官として赴任さるゝと聞いた全氏は、亦矢も楯もたまらず、永見氏や山中清兵衛氏に資金の調達を強願した結果、永見氏が旅費一千円、山中氏が学資一千円を融通することゝなつた。

当時二千円と云へば莫大な金額である。雄五郎氏は実に意気揚々、と新婚の夫人を残して大村伯等と共に二月四日朝、新橋駅を出発した。

当時の欧洲行きは、日露戦争直後で呉から大連に上陸し満洲、ソ連を経て、ベルリンに着いたのは二月二十一日早朝、十七日を費している。

暫らく独逸語を勉強して、四月一日からエルランゲン大学に入つて耳鼻咽喉科を専攻した。

当時この大學には日本人は一人も居なかつた。遠い異郷に唯一人ともすればホームシックに陥ろうとすること幾度、しかし青年時代に鍛われた孤独の生活と、勉學に對する熱意は強かつた。

滞独二年四ケ月、研さんの効成つて明治四十二年六月帰朝することゝなつた。帰途はロンドン経由、船路地中海、印度洋を経て神戸に上陸し、十七日の後新橋駅に帰つて、再び日本橋病院の人となつた。六月十七日、丁度三十二才の生れ日である。

病院開設

ドイツ帰りのドクターとして患者は雲集した。遂に翌四十三年銀座に医院を開設して、耳鼻咽喉科専門として独立開業したのである。

その後病院は繁昌する一方で、大正五年には米国を訪問して野口英世博士等にも面接して大いに親交を深めた。

当時の海外旅券には

> 長崎県東彼杵郡
> 上波佐見村千八十九番
> 士族戸主
> **本田雄五郎**
> 明治十年六月七日生
> 右は修学のため欧米各国へ赴くに付
> 云々……

と書いてある。

滞米一年三ヶ月、大正六年五月帰朝した同氏は直ちに十九年振りに墓参を兼ねて、故郷波佐見を訪れた。錦を飾つて故郷の山河に浸ること三日、当時の感懐は氏ならでは分るまい。

大正十二年には東京市医師会の理事となり翌十三年医學博士の學位を受けた。昭和四年には鉄筋コンクリート四階建のエレベーターを備えた、堂々たるビルを新築し、昭和十七年には京橋区医師会長にあげられた。

この間、長女芳江、長男一雄、二男二郎、三男三雄、四男政雄、五男俊五、二女まち子を得た。氏は義太夫と俳句を趣味とし、特にその俳句は氏の人格そのまゝの、おゝらかな気品の高い作品で、雅号を雄梧と称し「雄梧句集」と云う本を公民館にも戴いている。

結び

斯くして波佐見の一書生は、苦学力行の結果、東都に於ける堂々たる病院長となつたが過ぐる大東亜戦争は、この郷土の大成功者の最後を不幸に陥れたのである。

再三の空襲で堂々たる銀座の病院も焼失した。五人の男子は全部兵隊に驅り出され、軽井沢に疎開していた氏は、お子達の安危すら分らぬまゝに、終戦の年、昭和二十年の十一月、十二指腸潰瘍のため、淋しく逝去されたのである。行年六十九才。

初世夫人亦、昭和二十五年脳溢血のために世を去られた。この間五人のお子達は無事帰還され、長男一雄氏は銀座の旧病院附近に耳鼻咽喉科を開いて目下盛業中である。

××××

三回に亘つて本田先生苦斗の跡を書いたが**「断じて行えば鬼神も之を避く」**とゆう。波佐見の青年諸君!!先生の遺志をついで一大勇猛心を発揮せよ。

神は自から助けるものを助けられるであろう。

この稿を終了するに当り、謹んで先生の御冥福を祈ると共に、本田御一家の御隆昌を希う次第である。

（昭和三二・九・一八）

ほとばしる若人の意氣!!

第二回青年団陸上競技大会は秋晴の九月一日甲辰園で行われた。

午前九時各分団のプラカードを先頭に、二〇〇米のトラックを一周して正々堂々と入場式が行われ、国旗掲揚その他型の如く最後に昨年の優勝分団から優勝旗の返還があつて開会式を終り、男子八〇〇米リレー予選によつて火花散る競技が開始された。

この間、川棚中学校久松教諭の名アナウンスによつて刻々の情況が報じられ、折敷瀬、井石、宿等の応援団がそれぞれの趣向をこらして華を添えた。

陸上競技の華、マラソンでは中尾の前田和則君が昨年の西君の記録を破つて一位となり以下よく頑張つて青年の意気と誠実を充分に現わし結局左の通り、優勝旗と優勝カップを授与された。

この優勝カップは西原神村商店の寄贈によるものである。

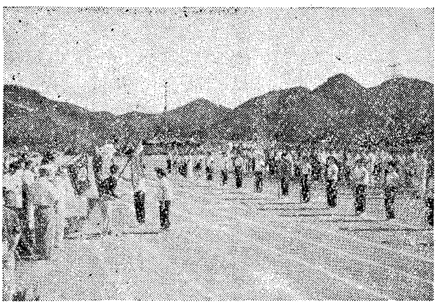
綜合優勝　村木分団

男子一位　折敷瀬分団

女子一位　宿分団

なおこの日鴻ノ巣（乙長野）分団が町団に加入した。

（公民館　永冨）



青年団の体育大会………優勝旗授与

本町選手県大会に奮斗!!

九月八日の郡連青年團体育大会は天候のため延期になつたので、左の諸君が郡の選手に選ばれ、九月十五日長崎における県大会で左の通りよく奮斗して好成績をあげた。（カッコ内は当日の順位）

四〇〇米　内田信也

一、五〇〇米（3）　西　正喜

走高跳（1）　福田好彦

走巾跳（4）　川口哲賢

マラソン（4）　田崎嘉苗

〃（オープン）　松尾　清治

〃　前田和則

砲丸投（5）　今里憲男

走巾跳（2）　福島早苗

砲丸投（3）　小島洋子

走高跳（1）　富永房子

排球　今里広信

> 十月六日午前九時から本町甲辰園に於いて郡連青年団の体育大会が催されます
> 皆様多数御来援下さるようお願い致します。

（青年団体育部）

皆さん!!ありがとう

去る七月二十五日諫早、大村地方をはじめ、県下一帯を襲つた空前の豪雨禍は、多くの尊い人命を奪い此の災禍に見舞われた八万五千人以上の罹災者は、着るに物なく住むに家なく、耕地は荒廃地と化し全く途方にくれ、その惨状は誠に見るに忍びない状態でありました。

本町としても、これらの気の毒な方々に対し広く町民の皆様に呼びかけ　義捐金品の募集を御願い申上げましたところ、心から多くの金品を醵出して戴き町と致しても皆様の厚き御同情に対し、感謝致しております。

又一方青年団の皆様は、早速復旧作業奉仕に多数出向いて下さるし、農家の方々は救援苗を送つて下さつて罹災者の方々が、涙を流して喜んで戴く様を見て、何とも云へない感にうたれたのであります。

集まりました金品は夫々早速被害地市町村に対し、議会、婦人会その他代表の方々に御足労を願い一諸に御見舞申上げ御届け致しました。

皆さんが醵出して下さつた金品を部落別に御報告致しますと、次の通りであります。

（役場　厚生課）

◆あなたの部落は……こんなに澤山◆

郷名	戸数	義捐金	白米	押麦	陶器類	衣類	その他
中尾	266	10.410	斗—	斗 0.02	1,069点	点 546	—
三股	86	3.405	—	—	687	61	—
永尾	179	7.230	2.19	2.15	421	286	履物　茶
小樽	62	2.190	2.80	—	—	132	—
野々川	77	2,660	2,40	0.68	—	104	茶4.400〆外2点
湯無田	338	7.952	3.00	0.10	1.100	800	—
井石	208	9.240	2.00	1,50	810	450	—
鬼木	76	3.820	2.07	0.50	—	50	—
金屋	139	4.830	2.30	—	—	200	ソーメン一箱
折敷瀬	202	12.550	4.95	4.20	100	208	履物2点外
宿	182	12,375	5.00	7.03	130	623	—
村木	86	5.235	4.78	4.40	—	109	—
皿山	143	5.325	—	—	1,486	612	履物26点外7点
稗木場	91	4.195	1.87	4.57	20	161	日用品20点
田ノ頭	73	4.510	3.60	1.00	—	145	—
川内	94	20.30	3.30	—	—	87	履物2点
岳辺田	104	4.765	3.34	—	—	60	履物2点
甲長野	45	1.415	1.12	0.28	—	49	—
乙長野	93	5.940	0.61	2.85	—	153	履物4点
協和	48	1.410	0.70	0.60	—	83	野菜1,5俵
志折	71	2.390	2.31	2.01	—	28	履物1点
中山	115	10,680	8.70	8.40	—	50	野菜4俵茶其他
湯無田青年団		1.381	—	—	—	—	—
計	2.778戸	125.938円	57斗04	40斗27	5.823点	4.994点	

波佐見音頭

才二位

（抜萃）

田頭郷　赤松　武

一、波佐見よいとこ
れんげのむしろ
遊ぶ白鷺ェー
花　模　様

二、波佐見よいとこ
番茶の頃は
梨は色よいェー
味　もよい

三、波佐見よいとこ
宝の盆地
秋は黄金のェー
穂が揺れる

四、波佐見よいとこ
五十の窯で
焼くは白金ェー
波佐見焼

五、波佐見よいとこ
祭において
人形浄瑠璃ェー
浮立見に

母と子が仲よく話合い

と　き～八月二十五日午後二時四〇分～五時
ところ～町　公　民　館
出席者～婦人会本部役員　一五名
青年団　一四名
助言者～浦野教育長
〃　永冨主事
協議題
一、青年団の集會について
二、未加入者の青年団加入促進について
三、結婚改善の問題
四、青年団活動と家庭との問題について
司会者～婦人会　小柳教養部長
青年団　小林文化部長

先づ一同自己紹介の後

一、青年団の集会について

青年団の集会は夜が多いので、開会時間がおくれ、従つて閉会がおくれる。

○時間励行が第一―

これには団員の自覚と親の協力～がほしい

○議題が多過ぎる―

問題をもつとしぼつてレクリエーションを取入れる。始めに魅力があるようにして帰りの時間を早める。

○体育の集会が多過ぎると云う親もあるが、体育によつて身体を強め、青年の若いあふれる力をはかすことは大事なことだ。大きな目で見て理解してほしい

○運動の熱と力とこの精神を、日常の生活に取入れてほしい。そうでないと運動をする甲斐がない。

二未加入青年の問題

中学校を卒業して入団していないものが三百人位いる。

○強制入団よりも自覚入団が本当だ。

○青年団に入ればためになると云う魅力ある団活動をすべきだ。

それには

○実生活と青年団活動を結びつける

イ、産業部活動を4Hクラブのような会にもつて行く～小人数からでも始めてほしい。

ロ。全団員がそれ〴〵楽しみをもつように―趣味を同じくする少数のグループ活動

ハ、行事をするためのの団でなく、自己研修の場であるように、――各分団でもつと青年学級を開設してほしい。講師は公民館でお世話する。（今活潑なのは鬼木青年学級である）

○**結婚するまでは**退団しないでほしい。

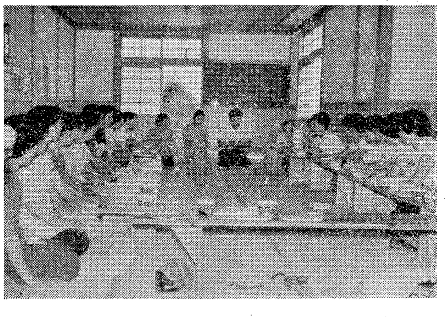
○**高等教育を受けた人**の中には、ま〻優越感をもつて入らない人があるが、そんな人こそ入団して指導の**立場に**たつて貰いたい。

○**青年の自意識が足り**ないから、年長者の意見に盲従する傾きがある。――もつと年少者の意見も聞けるよう司会者が気をつける。

○運動することによつて仲よくし、知らず〴〵入団出来るようにする。

○青年団のやつていることを、もつと一般の人に知つて貰うような行事をもつ。

各部落で母（父）と子の座談会をやつてほしい。


婦人会と青年団………幹部の懇談会

三、結婚改善について

○式の改善

○式も披露も**一日ですむようにしたい。**

○自宅でするのでは改善出来ない。**公營でや**つたらよいと思うが町公民館を改造するのは経費の問題や位置の関係で急にいかない。**分館で手を加えて**出来る所は早速実施して貰いたい。そうなれば必要な用具**は**公民館で用意する方法もある。

○結婚式だけの改善でなく、**棟上け、生れ日**等の行事でも無駄を省くように努めたい。

○　現在**皿山郷では部**落の話合いで、**数年前**からよく実行出来ている。各自の自覚でやれば出來るのだから、各**部落において話合い**婚礼の時期も近いので早速実施して貰いたい。

町全体として話合う必要のある事項**は部落から持出して話合う機**会を早くつくりたい。（これは部落で話合いの後）

四、青年団活動と家庭の問題

これに付ては既に一と二、で大体出たので時間の都合で省いた。

これで一応閉会し婦人会と女子青年だけ残つて、

○女子部会の出席をよくするには

○各部落で婦人会と共催で料理、その他の講習会を開く

○各部落で婦人会と女子部懇談会を開いて協力を求める。

○婦人会員の青年団に対する関心を高めるよう努力する。

○青年団員の意欲高揚につとめる。

総　評

○この会は大体青年団の要望を中心にして話合つたが非常によい会であつた。

この会を是非全部落で実施して欲しい。

（公民館　永冨）

婦人会便り

おいしい味噌と味噌漬の作り方

婦人会産業部では九月十六日、本支部の産業部役員六十一名が参加して、野々川に行き武雄市矢筈の大渡様から、味噌と味噌漬の講習を受けた。

その大要を誌すと

○味噌**バナの漬け方**

一、麦を水につける時間が大切、漬け過ぎたらいけない。

二、蒸した麦は、固まりがないように早くまぜ、むしろに二寸五分位の厚さに広げる。

三、上に布をかけ、冷える時はワラむしろをかける。

四、むしろは日光消毒し、雑菌がついたのは使わない。

五、適当な温度と、手入作業が大事。

六、朝盛込みして三日目の朝麹が出來上るのが理想。

七、ハナがついた時一度ウラ返す。

八、ハナをつけるのに今頃の季節が一番よい。

実習後、味噌漬の工場を見学に矢筈まで行く予定であつたが、雨のため中止した。

昼食の時味噌漬を試食させていたゞき、その色と味のよいのに感心した。

食用味噌と漬け味噌の原料配合は違えねばいけないし、漬物には漬味噌を作つた方がよいとのことである。

いづれ各支部で伝達講習が開かれると思うので、詳細は省畧しますが、せつかく講習を受けたので、是非家庭で実施して戴くようにお願いしておきます。

（婦人会―産業部）

視聴覚教育の技術者生れる!!

◉幻灯器とテープレコーダー操作講習会

第一回　八月二十一日　町公民館
同　日　南中学校
第二回　九月六日　南中學校
〃　七日　町公民館

二回ともあいにく暴風警報で、出席がどうかと心配したが、左記の通り多数出席して、いづれも熱心に受講した。これ等の人には**公民館から技術習得証を交付する。**

中尾郷	松尾　弘
三股郷	馬場　一将
	松尾　幾郎
	田崎　嘉苗
	小林　孝幸
永尾郷	長崎　信義
	島尾　美佐子
	江副　絹子
	一瀬　孝子
	太田　藤枝
小樽郷	小林　篤
	松村　秋美
	馬場　政夫
野々川郷	野沢　義典
湯無田郷	田端　義行
	山口　繁
	武宮　和子
井石郷	高坂　辰夫
	宮崎　スズノ
鬼木郷	福田　万里
	山崎　春海
	川添　重夫
	富木　和義
	川平　忠義
折敷瀬郷	太田　寿
	中島　久人
	平田　ひさ子
村木郷	広瀬　正人
	吉川　通
	尾塚　正
	沢村　近良
	原尾　善真
	原尾　ワキ
	岩永　チヨ
稗木場郷	朝田　貢
	田中　一義
	小佐々　吉之
川内郷	原口　寿充
	谷村　栄作
	川口　武義
	谷村　静男
	久田　延子
岳辺田郷	畠中　広
甲長野郷	松尾　由郎
	福田　幸夫
	溝上　幸次
	友重　博和
	松下　一
中山郷	松崎　敏之
役場	山川　芳樹
警察	田口　実

計五十一名

なほ今後部落で幻灯器とテープレコーダーを使用される場合、公民館の職員が出席出来ないときは、主催者（分館長、婦人会支部長、青年団分団長、農事研究会長など）の印鑑を持つて右の技術者が公民館に来られれば一度テスト操作後貸与することになる。

但し、その日取りは少くとも五日くらい前公民館に連絡して下さい。既に貸出しを始めて居り湯無田青年團ではテープ一巻を購入して、成績を上げて居ります。

映寫機技術講習会

九月十四日町公民館で県の立川主事を招いて講習会を開き左の八名に県の三級免許証が交付されることになつた。

湯無田郷	田端　義行
	山口　繁
金屋郷	貝原　正信
村木郷	沢村　近良
	尾塚　正
皿山郷	田崎　和明
志折郷	山口　国男
	山田　勝

計八名

なほ右の受講者は実習時間が足りないので、今後公民館の映写会になるべく出席して操作の実習をして下さい。

但し、映写機の部落貸出しは致しませんからその点おふくみ下さい。

御長命おめでとう

本年度の高令者は最高九十二才以下七十才以上男二一四名、女三三五名、計五四九名で町から全員にタオルを八十七才以上の方に赤ネルジュバンを贈つてその御長命を祝いました。

各郷では本月十五日以降部落主催、婦人会の主管で敬老会を催されたこと〻思います。**年よりは社会家庭の功労者、いつまでも大事に致しましよう。**

なお赤ジュバンを受けられた八十七才以上の高令者は次の通りであります。

九十二才	宿郷	浦川　ワモ
	中山	杢尾　リテ
九十一才	鬼木	山川　ヒサ
九十才	宿	古川　ミネ
八十九才	金屋	山下　ハツ
	田ノ頭	牛島　彦太郎
八十八才	宿	原　留吉
	皿山	福田　ナミ
	岳辺田	内村　ヨネ
八十七才	永尾	川島　クマ
	川内	山本　清次郎

なお中山郷岩永土太郎さんは九十二才で老人の日を前に九月十三日死去されました。謹んでお悔み申上げますと共に残存の皆さんが一そう長命されますようお祈りする次第です。

（厚生課、公民館）

青年団の辯論大会

受賞者

◎個人賞

一位	折敷瀬分団	渡辺　秀夫
二位	川内分団	久田ノブ子
三位	川内分団	石本　松行
四位	宿分団	城野　英敏
五位	皿山分団	田崎　和明
六位	川内分団	野本　康男

◎分團賞

一位	川内分團
二位	折敷瀬分團

波佐見音頭

第三位（抜萃）

鬼木郷　松崎　米市

一、佐世保離れて　東に一里
こゝは窯元　波佐見焼
トコ　ヨカトコ
きれいに並んだ　エプロン乙女

二、狭い谷間を　豊に結び
五里もつゞいた　波佐見川
トコ　ヨカトコ
大村殿さん　自慢竹

三、波佐見酒なら　六十余州
お茶の香りに　梨の山
トコ　ヨカトコ
娘おんばも　西瓜うり

四、二つ岳から　鹿山望みや
田圃にや黄金の　波がたつ
トコ　ヨカトコ
お宮にや祭の　笛太鼓

編集後記

◉今度は大きな表が多くて編集に困りました

◉例によつて次号に割愛した原稿があります、悪からずお許し下さい。

（公民館　永冨）

第8号
波佐見町公民舘
電話(波佐見金鑛局)69番
大村市玖島町
印刷所　隆文社印刷所
電話838番

財政事情説明書の公表

町民の御協力で 健全財政へ

町長　福重武次郎

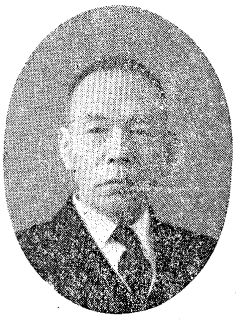
一、財政事情説明書の公表とは

近頃はラジオのスイッチをいれると「政府の時間」があり、映画館に入ると「県政ニュース」上映中とある流行の有線放送のスピーカーからは「県庁だより」やら「役場だより」「農協だより」等が流れてくるといつた状況である。

トウシャ版すりのペラペラものから、月刊雑誌かと間違えそうなものまで、各戸無償配付の市町村広報も盛んになつている。まさにマスコミの時代ということが出来ましよう。

昭和二十二年五月三日施行された「地方自治法」の中に「普通地方公共団体の長は、条例の定めるところにより、毎年二回以上、予算の使用の状況、収入の状況並びに財産、公債及び一時借入金の現在高、その他財政に関する事項を説明する文書を作成し、これを住民に公表しなければならないと示されております。

地方財政は、地方自治行政の原動力であり産業の振興、教育施設の充実、土木施設、衛生事業、消防施設等、何一つとして経費の伴わないものはなく、如何に立派な計画を樹てても、財政的な裏付がなければ結局架空なものとなつてしまいます。


町長　福重武次郎氏

一つの町は、丁度一つの家庭のようなものであつて、町財政の大部分は、町民お互が負担し、その他国や県の交付金、補助金で賄われており、その福利を受けるものは町民自体であります。

一つの家庭の中には達者な働き手もあれば老人や子供のように、働く能力のない者もあるように、町という大きな家庭の中にも、比較的富裕で、負担能力の大きい人もあり、困窮のためにその力の乏しい人もありますが、これ等の人々が、相扶け相はげまし合つて、はじめてこの大きな世帯も円満に維持して行けるのであります。

この意味に於て、町民皆さんは、自分の町の財政のありのまゝの姿をよく承知して、町の健全な財政の確立と町の振興に御協力願いたいのであります。このために財政事情説明書の公表をするのであります。

二、財政方針

波佐見町の財政状況は、別記説明書の通りでありますが、財政が町行政の原動力でありますので、自ら財政方針の如何によつて、その行政は大きく左右されるわけであります。

私は波佐見町発足以来、一年有余町長の職責にあつて、微力ながら町政を施行して参りましたが、此の機会に私の財政方針を公表して、町民各位の御協力を切に御願い致したいと思います。

1、収入の確実な見透しをなした上で、歳出総額の規模を定め、収入が不足する場合に於ては、積極的に支出の節減、合理化に努め単年度に赤字を生ぜしめないことは勿論、過去に生じた赤字の解消に努める。

2、現在までに行われた地方財政制度の改革は、地方財政運営の自主、自律性の強化を主眼とされているので徒らに国、県等に対する依存的態度を捨て、自主財源の活用を図る。このためには、その大部分を示める地方税の収入が根本であるので税務行政の運営については、特段の留意を払い、課税客体の完全補足に努め、収入確保を図る。

3、合併による新町は往々にして、合併条件の実施に急なるあまり漫然と自己の財政力を無視した事業等を計画する風潮が散見されるが、このような施策は結局、赤字累積を招き合併本来の目的に反する結果を招来するものであるから、消費的経費の節減に努め、新市町村建設促進法の趣旨を体し新町建設計画の促進を図る。

4、町財政の見通しは公債費の増高、並びに国家財政の影響等によつて。必ずしも早急に好転するとは思えないので、従来の因習、慣例、情実等を一掃し全く新らしい観念、感覚のもとに経費の生産的効果、事業の必要性並びに緩急度等を分析検討し、最も効率的な運営を図る。

以上は基本的な方針でありますが、本町は発足後日尚浅く、各方面に亘つて必要な事項が山積していると思います。

災害復旧の早急な完成をはじめ、道路の改修、整備、教育施設の充実、改修、産業振興施設の擴充、役場庁舎の改修等、枚挙にいとまがありません。

町発展の実績をあげるには、歳入の増加を図り、歳出の節約を図る事が極めて重要でありますが、歳入には制限があり、これが増収を図れば、やゝもすれば町民の負担を従らに増し、町民個人の経済に影響する所が大きく個人が苦しんでは町の健全な発展を遂げることはむづかしいのであります。

政府も、地方財政改善のためには鋭意、研究中であり、町村長会議長会等に於ても強力に要望しておりますので、何らかの形で具体化することを期待致しておりますので、出来得る限り住民の負担軽減を研究し、最少限度の行政機構職員をもつて消費的経費の節減を図り、投資的経費の示める割合を増大させなければならないと思います。

以上のような考えで鋭意、努力致したいと思いますので、説明書をよく御覧下さつて御意見、御感想等を御寄せ戴き、健全な町政の確立、町政の発展について、より以上の御理解、御協力を切にお願い致します。

寄附御礼

湯無田郷
峰　理恵子殿
金参万円也

右は故当一殿忌明に当り追善のため公民舘施設費として御寄附を戴きました。
茲にお礼を兼ね公告致します。

波佐見町長
波佐見町教育委員会
波佐見町公民舘

波佐見町 財政事情説明書

一、まえがき

波佐見町発足以来、最初の財政事情説明書の公表でありますので今回は、昭和三十一年度の決算概況並びに昭和三十二年度予算及び収支状況等について説明致します。

二、昭和三十一年度決算の概況について

昭和三十一年度の決算の概況は、別表(一)の通りであります。尚この決算額は、昭和三十一年四月一日から昭和三十二年三月三十一日まででありますので、合併前の旧町村分、即ち(四、五月)を呑んでおります。

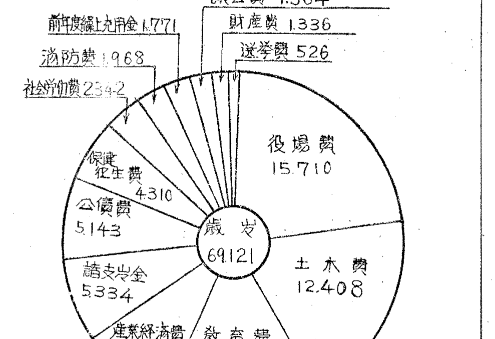
新町発足當時は、相当額の赤字があり、加えて、合併による臨時的経費が嵩んだために約三百万円程度の赤字が予想されましたので無駄を省き、一般消費的経費の節減を図る一方、各事業面についても若干の縮少を図つたのであります。

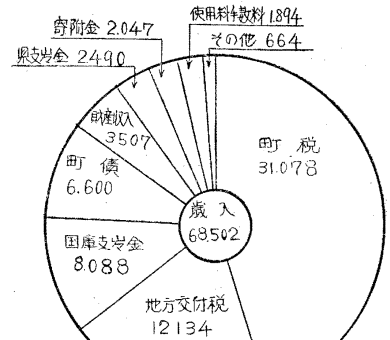
しかしながら、別表(二)に示します通り、税の徴収実績が町民皆様の深い御理解と積極的な御協力を得まして未曾有の好成績を擧げる事が出來ましたのをはじめとし、その他の収入の増収が実現し、支出面に於ける既定予算の節約と相俟つて、六十二万円程度の赤字に止める事が出来ました事は、本町財政の健全化のために誠に喜ばしい事であり御協力下さつた町民皆様に、厚く御礼申し上げる次第であります。

三、昭和三十二年度予算の概況

昭和三十二年度予算は、当初、その規模を六千八百万円として編成致しましたが、税法の改正、交付税の決定災害復旧費の割当、或は昭和三十一年度決算による収支額の確定等種々の情勢変動によつて不合理な点が見受けられましたので、九月下旬、歳入歳出共所要の追加更正を行い、總額七千五百六十三万八千円、その内訳は、別表(三)の通りとなつたのであります。

別表(一)　昭和31年度決算状況　(数字は決算額•単位千円)
(簡易水道事業費を含)





○贈る見榮返す義理から重む無駄

○貯蓄こそ新生活の道づくり

別表㈠

昭和31年度町税收入狀況

（単位千円）　現年度分のみ

税目	調停額	收入済額	收入率	人口一人当收入済額
町民税	8.389	8.318	992%	250円
固定資産税	17.412	17.271	99.2	1.079
自転車荷車税	867	862	99.4	54
町たばこ消費税	2.023	2.023	100.0	126
電気ガス税	1.752	1.752	100.0	110
木材引取税	590	187	98.4	12
合計	30.633	30.413	99.3	1.901

四、昭和三十二年度予算收支狀況

九月末現在

昭和三十二年度の予算概況は、さきに述べた通りでありますが、九月末現在の、その收支状況は別表の通りとなつております。

九月末現在という事は年度がはじまつてから来年を経過致して居りますので、昭和三十二年度上半期の決算という事が出来ると思います。

前年度（昭和三十一年）の九月末現在の收支不足額は約二百万円でありましたので、一時借入金として、二百万円を銀行、その他の金融機関から借入しておりました。

今年度はその残額五百万円となつておりますので、歳計現金の余裕が生じた訳であります。

この事は、健全財政確立への礎石であり、その第一歩だという事が出来るのであります。

五、起債の狀況

九月末現在

起債とは、個人でいえば借金の事であります。

町村に於ても、個人と同様に一つの大きな事業をする場合に、どうしても金が足らないので、適当な方法で金を借りてその事業を完成し、毎年すこしづつ償還して行くという事が行われております。

然しながら、この起債は無制限に出来るものではなく、その目的償還方法等についての枠が設けられており、（地方財政法）これについての申請、許可、（県知事）等はすべて一定の基準によつて行われるのであります。

その総額は、国に於て毎年度事業別に決定され、その範囲内に於て申請事項を検討して承認されるのでありますが、その枠は極めて僅少であります。

特に国際収支の不均衡を打解するために財政投融資の引締が強く打出された現状では、必然的に極めて窮屈の度を加えてまいつておりますので、此処当分は起債に頼る事業は縮少もやむを得ない状況であります。

本町に於ても、別表㈣に示す通り、多大の起債をなしておりますがすべてこの金は、学校校舎、道路改良、新設公営住宅、災害復旧費等住民福利施設となつているのであります、尚、この毎年度の償還（歳出科目の公債費）も非常に多額を要するのでありますが、この償還に要する費用のうち災害復旧費分については利子の五〇%をては、その九五%その地方交付で税交付され他の公共事業費分についております。

六、財　産

市町村の財産は、概ね、次のように區分することが出来ます。

㈠公共用財産

公共の用に供しまたは、供すると決定した例えば財産は、道路、運動場、公園等

㈡公用財産

公の目的のために使用している財産、例えば、役場庁舎、學校等

㈢收益財産

収益を目的とする財産、例えば貸地、山林株式等、

前記一、二、を行政財産といい、收益財産は、特にこれを基本財産として維持することが出来るのであり、又この財産を普通基本財産と、特別基本財産の二つに分けられます。

特別財産は、それから生ずる收入が特定の目的に充てられ、普通基本財産から生ずる收入は、一般的な経費に充てられる訳であります。

財産とは、以上のようなものでありますので、その多少、善悪、大小は、一般住民の福利、行政能力、者しくは收入面に多大の影響を与えるものであります。

さて、本町に於ける財産はどれ位でしよう公共用、並びに公用財産は、既に皆さんが見たり聞いたりで、一応御承知の事と思いますので、省略して、收益財産について御知らせ致します。（別表五）

別表㈢

昭和32年度予算並9月末收支狀況

歳入			歳出		
科目	予算額	收入額	科目	予算額	支出額
町税	32.580 000	15.202.499	議会費	1.689.500	7.685.661
地方交付税	13.640.000	9.793 000	役場費	15.050.600	126.653
公営企業及財産收入	381.000	21.430	消防費	1.884.700	984.064
使用料及手数料	2.013.100	825.537	土木費	16.981.000	2.398.423
国庫支出金	9.650.200	301.100	教育費	10.102.300	3.222.186
県支出金	4.864.500	30.459	社会及び労働施設費	2.034.500	734.706
寄附金	5.074.600	449.340	保健衛生費	2.423.400	704.370
雑收入	134.600	40.781	産業経済費	10.664.600	1.355.316
町債	7.300.000	0	財産費	1 195.400	124.312
			統計調査費	117.300	13.320
			選挙費	358.100	49.420
			公債費	5.887.500	2.754.086
			諸支出金	6.049.100	1.505.612
			予備費	200.000	0
歳入合計	75.638.000	26.664.146	歳出合計	75.638.000	21.658.129

別表㈣

起債の狀況

昭和32年9月末現在

起債の目的	当初借入金	現在高	人口一当現在高
災害復旧事業費	28.070.000	19.818.796	1.239
一般土本事業費	4.000.000	3.740.470	234
小学校改築事業費	6.700.000	5.124.885	320
中学校建設事業費	1.500.000	1.071.863	67
公営住宅建設事業費	1.500.000	4.864.639	304
簡易水道布設事業費	5.100.000	1.000.000	63
合計	46.370.000	35.620.753	2.227

別表㈤

收益財産の狀況

昭和32年11月末現在

一　株式

種別	持株数	額面総額	摘要
親和銀行株式	500株	25.000円	一株の額面金額50円
勧行銀行株式	100	5.000	〃　50円
九州電力株式	495	247.500	〃　500円
東京電力株式	69	34.500	〃　500円
計	1.164	312.000	

二　山林

所在地	面積	樹種	摘要
波佐見町川内郷	635反	杉、檜、松、雑	樹令約　3年～41年
〃　田頭郷	40	杉檜	樹令約　33年
〃　折敷瀬郷	410	杉、檜、松、雑	樹令約　5年～35年
〃　湯無田郷	30	松	樹令約3年

門松は自粛しよう

長崎県農地農林部長

昭和三十二年もいよいよ押迫つて参りました。皆様、各家庭におかれましては、より楽しい新年、を迎えようと、その心準備をされている事かと思いますさて、門松の自粛につきましては、数年来より、各方面より自粛運動が提唱されて来ましたが、未だ完全とは云い難く、その徹底の難かしさを表わしているのであります。

然も、日本の森林が戦後の貴重な資源として、非常に重要視されて、又、連年災禍に見舞われている現状にも拘わらず一方において、このような森林荒廃に拍車をかける、門松の、因習が行われていることは、真に残念なことであります。

このような風習から森林を護り、資源の愛護の目的を達成するには、各家庭の皆様方一人々々が自覚、自粛をして頂く以外にはありません、このような因習の払拭、新しい、住みよい郷土をしての、新生活を培いましよう。

お互に守ろう交通道徳を!!

歳末の交通事故をなくしよう

一般人は、

第一、に對面交通を良く守ること

第二、に正しい道路の横断歩行を守ること

第三、に車の直前や直後を横切らないこと

第四、に子供を道路で遊ばせないこと

自動車の運転者は

第一、に運転前に必ず作業点検を行うこと

第二、に歩行者や道路上の遊戯者の安全を確めること

第三、には安全運転の条項即ち

イ、酒を飲んで運転せぬこと

ロ、速度の制限を固く守ること

ハ、除行の義務をよく守ること

ニ、横断歩道では歩行者の通行を防げないこと

ホ、踏切は必ず一旦停車すること

等であります斯くして年末年始に一件の交通事故も起さず楽しく愉快な新年を迎えましよう。

国保

受診証には必ず領收印を押しましよう

保険料一部負担金の集納については、皆様の並々ならぬ御協力によりまして、漸く健全なる歩みを維持しつつありますことは、誠に喜びに堪えません、厚く御礼申し上げます。

然しながら一部には数ヶ月以上の帯納者もありますため、三ヶ月以上の滞納者は、保険による診療を一時中止し、現金を窓口にて支払い、後日、完納後、療養費として現金給付する取扱いをしていることは、既に御承知の通りであります。

従つて、各療養担当医にも受診証納入欄の確認を励行方要請し、印なきときは、現金窓口徴收して頂くよう連絡致しておりますので既に勵行のことと存じますが、保険料一部負担金集金の際は、必ず集金人の領收印押捺方實行して頂くよう、指導、徹底方御願い致します。尚、完納部落に於て、応々省略しておられる部落もあるようですが、町外担当医等に受診される場合、不快な感を抱くことがありますので、是非、実行して頂くよう、重ねて御願います。

公民館から

一、事務所移轉

十一月一日事務局の移転と同時に人事の移動がありました。

今迄の西の原公民館から事務局を役場内の別棟に移し図書の貸出等もそこで行います。

今迄以上に御利用の程を希望します。尚諸会合で西の原の公民館御利用も今迄通り御連絡の上御使用下さい。

尚人事に就ては今迄運営上礎石となり推進力となつて下さつた永富氏が産業土木課長に栄進になり福田フミさんが中学校事務係員として転属されました。尚その後に田川助役が公民館長として浦野教育長が副館長として兼務される事になりました。

主事としては財政係であつた公民館の経験ある山村主事が公民館入をされ又中学校から古川順子さんが新入りをされて、これから公民館を活発に運営するように協力していたゞく事になりました。

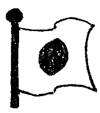
前任の方と同様に皆様の御支援を深く御願い申し上げます。

（谷村）

二、成人式について

本年成人に該当される方は、昭和十二年四月二日から昭和十三年四月一日まで生れの方です。その方々は晴れの式に望まれる為に種々心の準備がおありでしよう。町としてもいろいろお祝の方法を研究いたしまして、当日を楽しく意義流くあられるように計画しています。

そして前の心構への為に一月九日は西の原公民館で一月十日は南公会堂で成人の為の講座を開く予定にしております。



國旗は國の象徴だ　一軒のこらずかかげよ

波佐見焼窯元診談

經營に科学性を

品位 品質の向上に努めよ

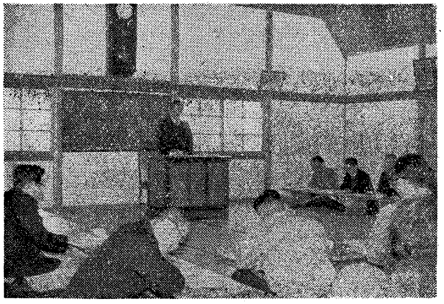
人間の体が病気にかゝつて衰弱すると同様に、各種商工業も、その経営方針に誤りがあり、不合理があると、自然不振となり、ひいてはそれが倒産の原因ともなるのであります。

当町の陶器製造業が特殊産業であつて、町の発展に大きな役割を果している事は申すまでもありませんが、県としても、之れが、育成発展には、深い関心を払つておられるのであります。

幸にして、業者の方々の永い間の苦心、研究或は努力によつて最近は年と共に向上の一途を辿つており、誠に喜びに堪えません。

然し、県当局は、親心からここで業者に安心することなく、これを機会に、やがて来るべき不況に遭遇してもばん石の固めと、備えを充分になさしむるため去る六月より九月にかけて、当町窯元工場の現地診断を行い、実情を分析して問題点を見出し、適当な措置を加える計画がなされたのであります。

その結果について、十一月十二日午後二時より、工業組合会議室に関係業者、約五十名を集めて發表会を催されましたが、指摘された事柄は、業者としても虚心担懐にこれを受け入れ、更に研究を加え、今後益々波佐見焼の向上、發展に資せられますよう希望する次第であります。


診談結果の發表を聞く関係業者
工業組合会議室に於て

◇主なる改善勧告事項

一、指摘された改善事項を、正確に把握し地区全体の業者並びに諸機関が一丸となつて、強力に実行に移すこと。

二、経営に科學性を導入すること。

業者が、永い間の経験や、勘にのみ頼り過ぎておられる感がある。

勿論、多年の経験や勘も貴重ではあるが、もつと計数を基にした合理化の方向を見出さなくてはならない。

三、当地区として、進むべき方向を確立し、これに地区全体が邁進すること。

名古屋地区が輸出に力を入れているため、国内が品薄になつて、現在は賣上げが伸びているが、輸出不振の時期が来て同地区が国内向けの生産に力を入れた場合を考え、當地として慎重に対策を研究しておく必要がある

そのためには

㋑品質の向上と、コストの低下を図ること

㋺品位の向上に、特に努力すること。

㋩地区との競合を避けること。

㋥生産者と卸売業者との、強力な共同戦線による販路確保に努むること。

㋭関係機関との緊密な連繫。

等が考えられる。

四、経理資料の整備とその活用を図ることと特に、諸帖簿類の活用を要望する。

五、夏場（五、六、七月の販賣高を増加すること。

六 製品の品位を高めること。七、生産性の向上によるコストの引下げを図ること

卸賣業者の声として当地の製品価格が一、二割下れば、二倍位の販路が開けるという意見があるが、これは即ち、品質を落さず、而も品位を上げて、コストを一、二割程度下げることが出来れば、当地として安定した経営がなし遂げられるわけである。

以上のことから、生産性の向上が一番重要な課題であるが、これは労働強化による生産性向上の意味でなく、真の意味の能率向上であることを、特に、銘記されたい。

（田川館長）

「靖國の父よ安らかに」

遺児靖国神社参拝

本年も第四回遺児靖国神社式拝が県当局に於ても計画せられ、本町からも次の九名が参加する事になり、十一月十一日正午、町役場正門前に勢揃いし、町長代理田川助役より激励の言葉を受けて遺児たち一同元氣よく上京の途についた。

金屋郷	尾上　久俊
村木郷	山口　則子
長野郷	梅野　照憲
川内郷	松添千惠子
小樽郷	石橋　和昭
折敷瀬郷	佐々口澄子
三股郷	堀池　主男
中尾郷	坂井　洋子
折敷瀬郷	古田　弘子

（以上九名）

靖国の父を訪ねて

「どうして親不幸が出来ましょう」

南中三年　梅野昭憲

誰かに呼び起されたような気がして目をさますと、まだ一時を過ぎたばかりの夜中でした。

いつもは、朝まで目をさました事のない僕だのに、それもその筈夢にも忘れた事のない父…生れてわずか三ヶ月して別れた父と逢える日が明日かと思えば嬉しくて！県や役場の方々の見送りを受けて早岐を出發したのは、十一月十二日午後一時三十四分でした。

関門トンネル、大阪京都、冨士山、すべて珍らしく楽しいうちに十三日夕方、東京駅に着きました。

さすがは日本の中心都市だけあつて、目がまわる程でした。

いよいよ今日は十四日、なつかしい対面が出来る日、身も心も清々しく、岩永班長さんに引卒され、靖国神社へ……

神々しい広い立派なお社、絵で見るような大鳥居、こゝにお父さんが祭られているのだろうか。一人でに頭が下がりました。

やがて十時、神主さんの、のりとが聞えて参ります。佛壇の寫真で見るやさしそうな顔や、一度も見たことのない父の姿が、まざまざと、眼に浮んで来ます、この感激を僕達六百数十名の外に誰が知り得ましようか。

「お父さん、僕もこんなに大きくなりました毎年、秋になれば、台風がひどく、学校から帰れば、すぐ二階に雨戸と、大風の用意をして廻ります。それでもひどい夜中は、雨にぬれて、お母さんと二人で戸のたたきつけをしたりして、ゆつくり眠る事は出来ません。そんな時はとても悲しいのです。

お父さんのことを思い出して、でも僕がしないと、するが者おりません、僕は責任を感じます、強く生きます

こんな よいお社に祭られたお父さんを持つていて、どうして悪い事が出来ましよう、たつた一人で、苦労して育てて下さつたお母さんに、どうして親不孝が出来ましよう。

見ていて下さいお父さん、一人で二人前もお母さんに孝行します勉強もします。」僕は心の中で固く誓いました。

父よ、何十万の英霊よ、やすらかに…と心からお祈りし、そうだまた逢いに来ようこの九段坂に、今度は何か自分で働いて、きつとそうして帰りに、もう一度振り返つて「お父さん」と呼んで見ました。

靖国の神となりにしわが父に、正しく生きる事を誓いて、十余年、父なきものと思いしが、今日からいます　靖国の父

‼強く明るく正しく生きます‼

東中三年　坂井洋子

気づかわれた天気も秋晴れの好天気にめぐまれて、十一月十二日午後一時三十分、早岐駅を、靖国号は一路東京へと發車しました。

車窓より見えるものすべてが、この有難い喜びの機会を共に祝つてくれているようでした。

父は私が生れて、間もなく出征され、私が三才の時戦死しておられますので、面影等全然知りません、時折写眞で忍ぶだけです。

「今度靖国で会う父はどんな人だろうか、どんな事を話そうか」と思うと、嬉しくもあり、悲しくもあり、又不安な気持とが、

一緒になつて、頭の中をぐるぐる廻つて、落ちつかぬ私な乗せた靖国号は、まつしぐらに走り續け、十三日午後七時東京駅につきました。

そのまゝ宿舎に行き初旅の疲れを直し、翌十四日は、清々しい気持になり、午前八時、目的の靖国神社へと向いました。

場内に入ると、澄みきつた秋空をつくような大鳥居、一面にきれいな玉砂利がしきつめられて、チリ一つ落ちておらず、そうごんさが身にしみて、緊張しました。

一歩一歩社前に進み神主さんのおはらいを受け、やがて本殿に進み、いよいよ父に会う時間だと思うと、私の胸は早鐘のようになりました。

神主さんの指図により、大きな鏡の前に坐つて、目をつむると、あたりはしんとなつて何んと云つてよいか今だにわかりません。

「お父さん、洋子です。福岡の家も何もかも戦争で焼かれましたけど、洋子は、おじいさん、おばあさん、お母さんのおかげで、こんなに大きくなりました。又、來年は、私の希望としていた高等學校の試驗も受けさせて下さいます。

お母さん達も皆元気です、そして、皆さん方のおかげで、こうしてお父さんに会うこともできましたと十五年間の事を黙とうの中で父に語りますと、父の方からも

「大きくなつたね」と云つていられるようで目頭が熱くなつてきたのを感じ、はつと自分にかえりました。

「今後も一層勉強にはげみ人に心配かけないように強く、明るく、正しく生きます」と誓つて、お父さんに別れを告げて、緊張した中に皇居見学に入りました。

案内人の人が色々と説明して下さいました普通の人が見ることのできない所を、こうして見せて戴きました事も、父のおかげだと有難い感に打たれながら皇居を後に国会議事堂に向いました。

数人の議員さんのお出迎えを受けて、堂内を見学しました。

翌十五日は、上野動物園、都内見学等をして、父のいる靖国、東京に心を残しながら帰途につきました。

途中京都に下車して昔をしのぶ名所、旧跡等を見學して、靖国号は京都駅をはなれ、京の町や、煙の都大阪を経て、夜の関門トンネルを走り、十七日午前九時有田駅につきました。

わずか一週間のお友達であつたけれど、何んとなく、さびしい気持で別れをかわし、「螢の光」の曲を最後に私達の靖国神社参拝旅行は、無事に終りました。

最後に、このたび、長崎県遺児靖国参拝団の一人として、参加させていたゞきましたことは、県の方々や、町役場の係の方々、又、岩永班長さんのおかげだと有難く感謝いたしました。厚く御礼申上げます。

又、十七班のお友達にも大変お世話になりました事、深くお礼申上げます。

（編集の都合上他の遺児分は省略させて戴きましたので悪からず御諒承下さい）

『自粛しよう』

新年は家庭的に

町公民館では、十二月十一日運営審議委員会を開いて、左記のような自粛事項を決定し、これを町内の末端まで徹底させるよう申合せた。

一、忘年会その他類似の宴会を廃止し、これによつて生じた剰余金は、貯蓄や建設的な生活設計、その他健全なレクレーション等に振り向けましよう。

二、歳暮等の贈答品の虚礼を廃止しましよう。

三、家庭的な新年を迎え、祝宴を廃止しましよう。

四、新年には各戸學つて国旗を掲げ門松は小枝位にいたしましよう。

五、年末助け合い運動に参加し、困つている人々を助けましよう。

六、婿殿モチは、なる丈け小さくしましよう。

七、町主催の名刺交換会に参加し、町内の形式的な年賀状交換はやめましよう。

八、正月用の献立を簡素にして、冗費の節約を団りましよう。

九、火災や盗難等にかゝらぬよう、心の戸締を固くしましよう

○待たず待たせず笑顔の集い

○出して消すより出さぬが大事

五課制を三課に

町役場機構変る

町長は役場事務の能率の向上と、窓口サービスの改善について、現在の事務機構と、係配置を検討していたが今回「五課（総務、税務、厚生、経済、土木）と十三係」を「三課（総務、民生、産業土木）と七係」に統合し、町村合併による現在の機構を根本的に改革し、これに基いて十一月一日課長以下二十八名に及ぶ大異動を発令した。

之によつて一つの用件に関連する窓口事務がより以上にスムースに処理されることゝなり又職員の適材を適所に配置することによつて、事務能率の向上を図り併せて新町建設計画推進のための体制を整えることとなつた。

波佐見町職員配置表

一、町長事務部局の職員

課長	総務課 （兼務 久松助役）		民生課 川本仙太郎		産業土木課 永冨貢			収納室
係長	庶務係 友重良男	税務係 （兼務 友重良男）	戸籍民生係 川平清一	国保衛生係 橋口春雄	経済係 田崎良雄	土木係 牧村永作	支所係 田中求	
主事	棚倉勇 末岡秋夫 （永吉厚）	村川速雄 小林修輔 太田武彌 中尾豊 岡沢武男	山下鉄夫 太田春由 永崎安夫 松尾栄作 坂口・ソノ 小柳京子 中里糸喜子	山田富士夫 大石隆光 藤井自身 山下倉蔵	岳辺三郎 松添建美 山口五郎 大久保昭次	松尾均 戀塚義雄	田添強 高城義雄 渋江アヤ子 石田冲津	浦川正巳 中川テイ子
主事補（雇）	水谷早苗 福田征子 中村岩夫 岸川重次	森林カチ代	（保母） 松尾敏子	中尾千代子	岩永淑子	谷口進 山川修	畠中栄子 藤野国雄 尾崎ケヤ	
事務内容	財務、庶務 消防、新町 建設計画整 自動車運転 手使丁 （休職）	税務全般 土地、家屋 地代	戸籍、配結 外人登録、 印鑑身元證 明、援護 後援保育所 自衛官募集 調理士	国保 保健婦 衛生	統計、商工 新農建設、 農林全般 （森林組合）	監理 建設	戸籍 出納 国保 保健婦 道路工手 使丁	会計

二町長事務以外の機關の職員

議会 書記長　入江敬勝（選挙監査委員会書記兼務）

農業委員会 農地主事　高月俊一、書記　吉川益次、書記　坂井三郎

教育委員会 教育長　浦野安、主事　福田正

公民館 館長　田川助役、主事　谷村左十、雇　古川順子、主事山村　正昭、青年学級講師　田浦フジエ

素牛の選定に研究を

畜産共進会を顧みて

畜産共進会は、家畜を最上の条件に於て比較しなければなりません。

即ち牛は最上の飼い方をすればこんなに立派なものが出来るのだと云う事を見て貰うのが一つと、少しむずかしくなりますが遺伝的にこれだけ固定していると云う事を現わさなければなりません、そのためには家畜が持つている能力を充分発揮出来た時に比較検討しなければなりません、このことを頭に入れておいて戴いて所感を申し述べて見ます。

先ず育成牛 ですが、御当地ではこれはあくまで将来肥育の素牛となるのだと云う事を考に入れて飼育されなければなりません。即ちこの時期は人間の十七、八才位までの発育盛にある時代ですから腹一杯喰せて充分運動して体をきたえなければならないのですがそれが殆んど出来ていません、腹七分目で牛小屋にちつ居していると云うので現状のようですからこの点注意して下さい。

次に役牛 ですがこれも育成牛と同様な事が云われます、肥育に入る前に資債（角、皮膚、被毛、骨じまり骨味）の良いものを選ばなければなりません。

肥育事業の成否は九割九分まで良い素牛を飼えるかどうかと云う事にかゝつていますので、この点特に御留意される必要があるでしょう。

一部の人々は素牛の選定に関心を持つておられるようですが大部分の人が選定が上手に出来ているとは申し上げられません。波佐見町が肥育地帯として今後名声を得るためには条件等も出来上つたものが誰が肥育したものでも、一四〇〜一七〇貫と云うように同じ大きさに揃い、毛糸等も腹白がいたり、虎毛のものがいたりしてはいけません、又体型的にも良いものが各地に出来ていますので今少し注意して購入する必要があるでしょう。

即ち皮牛等も今少しく柔らかで弾力があり骨組もしつかり背がたるんだり、尻が下つていない筋のよく張つたものを選ばれる事が大切です。

次に肥育牛 ですが、これは最初に申し上げたように品評会の目的がはつきりしているのですから満肉の状態で出品される事が絶対必要です、その他は前述の通り素牛の選定について今一段の御研究が必要だと思います。是非今後は「**もうかる**畜産」「も**かる**肥育」と云う事を念頭において努力して戴くようお願い致します。

（愛牛と共に喜ぶ入賞者）

寄附御禮

助役
田川好松殿
金五千円也

右は、病気全快祝のため、町社会福祉協議会運営費として、御寄附を戴きました。

ここに厚く御礼申上げます。

社会福祉協議会長
福重武次郎

御あいさつ

産業土木課長　永冨　貢

昭和二十七年下波佐見公民館長就任以来関係諸団体特に學校、育友会、婦人会、青年団農事研究会等の皆様には大変お世話になりましたことを厚く御礼申上げます。

このたび町役場の機構改革によつて、従来の経済課と土木課が合併せられ産業土木課となりまして、去る十一月一日から課長に就任することになりました。

農業と窯業二大基幹とする本町の産業の振興するか否かは、全町民皆様の福祉に重要なつながりを持ち、又産業文化の進展に先んじ或はその進展に伴う土木事業の普及は、又本町の振興と町民皆様の福利に重大な関連をもつことは申上げるまでもありません。

今までいさゝか農村行政と土建事業の体験は持つて居りますが、既に時代も変り、仕事の内容も変つて居りますので当分実務を勉強致しまして、この重要な職責遂行のために努力致したいと思いますので皆様の絶大な御協力を切にお願い致しまして御あいさつと致します。

新入児童の届を

昭和三十三年度、一年生として入學する児童については、教育委員会事務局で住民登録簿によつて、十二月一日現在で調査中であります。

近い内に、郷総代さんの手を通じて、該当児童の父兄に入学届用紙をお届けしますので必要事項御記入の上、捺印して、又郷総代さんを通じて御届け下さるよう御願いします。

尚、住民登録をしてない方、又は、異動等で、通知洩れの方は、至急に総代さん、又は事務局まで御通知下さい。

尚病弱で、四月より学校に入學出来ない児童がありましたら、医師の診断書二通をとつて教育委員会事務局まで御出で下さい。就学免除又は就學猶予等に県の方へ手続きを致します（一月未まで）

二等　陸海空士

自衛隊員募集

本年度最後の標記募集があるので、適令者奮つて応募されるよう御知らせします。

一、本町の應募目標

二三名

二、應募資格

1 昭和三十三年三月一日現在、満十八才未満の者（昭和八年三月二日から、昭和十五年三月一日までの間に生れた者）

2 学校教育法に定める中学校卒業程度の学力を有する者。

三、受付期間

十一月二十日から、翌年一月十日まで

四、志願手續

町役場民生課より志願票二通を受取り、これに、所要事項を正確に記入した上、五円切手を添えて町役場民生課へ提出して下さい。

五、試験場

大村市　大村部隊

六、試験期日

昭和三十三年度一月十八日から、一月三十一日までの間で現在はつきりした期日不明

七、採用予定通知

三月中旬の予定。

八、その他

詳細は、町役場、係へ問合せ下さい。

御挨拶

去る十一月一日より町役場事務機構が改革されました結果、私共は、同日付を以つて、それぞれ公民館の事務を担当することになりました。

申すまでもなく、公民館の運営活動はいわゆる町づくりの一翼でありますから、その使命は極めて重要でありますが、その成否は、一つにかかつて町民皆様方の心からなる御理解と、御援助にまたねばならないのであります。

私共は至らぬ者ばかりで御座居ますから、どうか今後よろしく御指導と、御鞭韃を賜りますよう御願い申上げま[illegible]上の御挨拶と致します。

波佐見町公民館
館長　田川好松
副館長　浦野安
主事　山村正昭
雇　古川順子

編集後記

十一月に発刊の予定をいたしておりましたものを、人事異動により、私が担当する事になりましたが、引継事務等にて、延引いたしました事を深くお詫びいたしますと共に、御協力、御指導下さるようお願いいたします。

◇

今号は、一、二、面に亘り、町財政事情説明書の公表を載せましたが幾分固い面になつた事と思われますが、是非「よくお読みになつて」町財政の健全化へ、御協力下さい。

◇

毎刊前任の永富先生が「波佐見人士伝」をお書きになつておられましたが、今回は都合により休ませていたゞきました。

尚発刊時期が遅れたため御寄稿下さつたものが、だめになつたり又、編集の都合にて止むなく、割愛せねばならなかつた為登載出来なかつたことを悪からず御了承下さい。

◇

次号は「新年号」を月中ば頃までには発刊するよう、計画いたしておりますので、御寄稿下さい。

一年半ぶりの編集にて、編集が粗雑である事かと思いますが、その点悪からず、御了承の上、愛読下さい。（山村）